

2 0 2 3 年度
事業報告

社会福祉法人麦の子会

目 次

目 次.....	3
2023年度の主なトピック.....	4
I 法人運営.....	5
II 幼児部門.....	9
III 学童部門.....	24
IV 成人部門	53
V 家庭・くらし部門	67
VI クリニック.....	80
VI 地域連携	86

2023年度の主なトピック

①麦の子会創設40周年記念バレエ公演を実施しました。

8月5日(土)14:00~15:15、札幌市内の共済ホール(札幌市中央区北4条西1丁目)にて、麦の子会創設40周年を記念してクラシックバレエの公演を行いました。15年前から麦の子会の通園児童が通っている「井伊悦子バレエスタジオ」で例年行われているバレエ発表会との共作という形でご協力を頂き実現しました。このバレエスタジオに現役で通っている児童、OB・OGの卒園児、その親、麦の子会職員、総勢約30名が出演しました。今回が初めて法人としての周年行事でした。御来賓の方々も、麦の子会の理事・評議員、福祉、教育、マスコミ、医療、児童相談所等各方面から33名にご参加いただきました。

②フィンランド・スウェーデン・イタリアへの海外視察を実施しました。

2023年4月30日~5月5日フィンランド・スウェーデンの海外視察に、麦の子会職員9名が参加しました。フィンランドではナイステンマトカ小学校のインクルーシブ教育の様子を視察しました。スウェーデンでは、保育園を視察し現場は北欧における制度を学びました。北欧でのインクルージョン、子ども中心の施策が実感できる視察でした。

2024年1月21日~26日イタリアのポローニャの小学校を視察しました。麦の子会職員が6名他団体との共同での視察でした。2025年度創設予定のエレメンタリースクール(オルタナティブスクール)開校に向けて、イタリアでの実際のインクルーシブを学ぶことができました。

③アジア知的障害者会議に成人利用者さんと参加しました。

2024年1月28日~30日香港のマカオで開かれた第26回アジア知的障害者会議に成人事業所の利用者さん5名、麦の子会職員6名が参加しました。

スタディツアーでの生活介護施設と入所施設の見学、フレンドシップナイトでアジア各国の披露中でのフラダンスと盆踊りの披露、当事者発表会での発表などを行いました。飛行機が始めてで不安がる利用者さんもいましたが、利用者さん全員による当事者発表は、それぞれが練習の時よりも声も大きく表情も素晴らしいもので発表終了後はスタンディングオベーションで沢山の拍手をいただきました。外国での施設の見学は日本や自分の過ごしている事業所との違いに興味深く参加していました。どれも新鮮な体験に喜びと楽しみを感じらる大会参加となりました。

④指定管理者としての監査が実施されました

10月19・20・23・27日の4日間にわたり、札幌市監査事務局による監査が行われました。その後、確認事項を回答したあと、12月19日に札幌市の監査委員会が開かれ、翌年1月11日付で「指摘事項なし(意見(要望)事項あり)」との通知を受けました。意見(要望項目)事項は、金券類の管理に関する事項が規程に整備されていない点で、これに関しては既に「現金取扱規程」を改正して対応しています。この内容は札幌市監査事務局の「定期監査等の結果に基づく措置通知」のホームページに掲載されています。

指定管理期間の5年間に1度行われる監査で、麦の子会としては初めての札幌市監査事務局の監査でした。

⑤パークタウンホームを建設しました。

パークタウンホームを建設しました。3回建ての建物で、1Fは生活介護事業所トリニティーの従たる事業所でコインランドリーを設置、短期入所事業所の「ショートステイホームマルコ」(定員3名・重症心身児対応)、2Fがグループホームの住居「ホープ」(定員4名)、3Fが住宅型有料老人ホームパークタウンホーム(3世帯・定員4名)の複合施設です。法人としては初めて高齢者分野の事業を新設しました。

2023年9月からの着工でしたが、昨今の建設事情等もあり工期の延長等もありましたが国庫補助事業でもあり3月中の検査済証の受理はできました。残工事が一部あったため、本格稼働は2024年7月からとなります。

I 法人運営

1. 理事会・評議員会の開催及び監事監査の実施

(1) 役員構成

- ①理事：北川聡子（理事長） 古家好恵（常務理事） 山崎千恵美 高本美明 木村瑞穂 高田隆一
- ②監事：末永仁宏 向谷地生良
- ③評議員：遠藤光博 尾崎祐一 金田光夫 田澤泰明 中原明 藤井康弘 米山明

(2) 評議員会の開催

定時評議員会（2023年6月24日（土））

ア. 報告事項

- (1) 2022年度事業報告
- (2) 2022年度決算報告
- (3) 監事監査報告

イ. 審議事項

- (1) 理事及び監事選任の件
- (2) 定款変更の件

第2回評議員会（書面決議）（2023年9月7日付）

ア. 決議事項

- (1) 議事録署名人の件
- (2) 土地建物の基本財産追加、並びに担保提供の件

第3回評議員会（書面決議）（2024年2月22日付）

ア. 決議事項

- (1) 議事録署名人の件
- (2) 定款変更の件

(3) 理事会の開催

第1回理事会〈定例1〉（2023年6月9日（金））

ア. 報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について
- (2) 人事報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 2022年度事業報告の件
- (3) 2022年度決算報告の件
- (4) 監事監査報告の件
- (5) 任期満了に伴う理事及び監事候補者選定の件
- (6) 定時評議員会日程の件
- (7) 定時評議員会議案の件
- (8) 定款変更の件
- (9) 給与規程改定の件
- (10) 経理規程改定の件
- (11) ジャンプレッツ（就労移行支援）工賃適正額検討の件
- (15) 今年度理事会日程の件

第2回理事会〈臨時1〉（2023年6月24日（土））

ア. 審議事項

- (1) 理事長選任の件
- (2) 常務理事選任の件

第3回理事会〈臨時2〉（書面決議）（2022年7月26日（土））

ア. 審議事項

- (1) 仮称）パークタウンホーム新築工事入札の件
- (2) オルタナティブスクール建設用地購入の件

第4回理事会〈定例2〉(書面決議)(2023年8月25日(金))

ア. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 仮) パークタウンホーム新築工事入札結果承認及び契約締結の件
- (3) 仮) パークタウンホーム建設に伴う借入の実施と担保提供の件
- (4) 障害児支援における安全管理等に関する調査研究実施の件
- (5) パートタイム職員の退職金に関する規程改定の件
- (6) 給与規程改定の件
- (7) 定款変更の件
- (8) 評議員会書面決議実施の件
- (9) 次回理事会日程の件

第5回理事会〈臨時3〉(書面決議)(2023年11月9日(木))

ア. 決議事項

- (1) インクルーシブ研究所設置の件

第6回理事会〈定例3〉(書面決議)(2023年11月21日(金))

ア. 報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務遂行状況について
- (2) 人事報告
- (3) 会計報告
- (4) 監事監査報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 第一次補正予算の件
- (3) 経理規程改定の件
- (4) 給与規程・パートタイム就業規則及び給与規程改定の件
- (5) 定款変更の件
- (6) 評議員会書面決議実施の件
- (7) 次回理事会日程の件

第7回理事会〈定例4〉(2024年2月9日(金))

ア. 報告事項

- (1) 理事長及び業務執行理事の職務遂行状況について
- (2) 人事報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 住居型有料老人ホーム開設の件
- (3) 訪問介護事業開設の件
- (4) 経理規程改正の件
- (5) 定款変更の件
- (6) 評議員会書面決議実施の件
- (6) 次回理事会日程の件

第8回理事会〈定例5〉(2024年3月19日(金))

ア. 報告事項

- (1) 第3四半期決算報告
- (2) 監事監査報告

イ. 審議事項

- (1) 前回議事録承認の件
- (2) 2023年度第二次補正予算の件
- (3) 2024年度事業計画の件
- (4) 2024年度予算案の件
- (5) 福祉・介護職員処遇改善臨時特例交付金の件
- (6) 諸規則・規程改定の件
- (7) オルタナティブスクール新築工事入札の件
- (8) 総合施設長年俸額改定の件
- (9) 職務専念義務免除の件
- (10) 当別町子ども発達支援センター見積合わせ応諾の件

(11) 次回理事会日程の件

(4) 監査・指導の実施

実施者	監査実施日	監査対象
末永 仁宏監事	①2023年 6月 8日 ②2023年 8月 18日 ③2023年 11月 18日 ④2024年 3月 1日	法人定款第18条の規定に基づき、2022年度事業に係る理事の業務執行の状況及び法人の財産の状況。
向谷地生良監事	①2023年 6月 8日 ②2023年 8月 23日 ③2023年 11月 17日 ④2024年 3月 17日	法人定款第18条の規定に基づき、2022年度事業に係る理事の業務執行の状況。
札幌市監査事務局	2023年9月1日～12月19日	法人本部・札幌市みかほ整肢園（医療型児童発達支援センター）（札幌市の指定管理） 財政援助団体及び指定管理者への監査
札幌市 ・ 監査指導室 ・ 障がい福祉課	2023年12月26日	法人本部 むぎのこ児童発達支援センター
日本財団	2023年11月16日	妊娠SOS相談窓口の新設 妊娠SOS相談窓口及び宿泊施設の整備 親子のカウンセリング及び産前産後の母子支援施設の整備
札幌市児童相談所	2023年11月28日	全ファミリーホーム （ガブリエル ベーテル ミモザ グレープ）
公益財団法人児童育成協会	2023年7月6日	むぎのこ保育園（企業主導型保育園）
札幌市子ども未来局	2023年10月11日	むぎのこ保育園（企業主導型保育園）

(5) 助成・補助金

受入事業所	交付団体等	助成・補助金内容	助成額
19 事業所	札幌市	置去防止装置補助	6,475,000円
ホトハウス	札幌市	施設等整備費補助	41,100,000円
全ファミリーホーム	札幌市	光熱費高騰対策補助	240,000円
全ファミリーホーム	札幌市	体制強化補助金	8,374,000円
全ファミリーホーム	札幌市	食材費高騰対策補助	153,600円
ミモザ	札幌市	高機能化多機能化事業	8,532,117円
むぎのこ保育園	北海道	医療介護障がい施設	175,000円
むぎのこ保育園	札幌市	給食費高騰対策事業	280,000円
むぎのこ保育園	児童育成協会	運営助成金	55,365,986円
51 事業所	札幌市	食材費高騰対策事業	5,994,000円
SSハーベスト	札幌市	重心受入促進事業	1,176,000円
法人本部	独立法人高齢・障がい者・求職者雇用支援機構	障害者雇用調整金	8,496,000円
むぎのこ児童発達支援センター	北海道共同募金会	歳末助け合い募金	47,000円
53 事業所	北海道	医療介護障がい施設	4,825,400円
全日中一時事業	札幌市	補助事業	32,164,805円
むぎのこ居宅介護	札幌市	移動支援	4,265,282円
むぎのこクリニック	札幌市保健福祉局	新型コロナワクチン接種補助	717,000円

むぎのこクリニック	北海道	医療介護障がい施設	100,000円
むぎのこクリニック	社会保険診療報酬	オンライン資格補助	321,000円
妊娠SOS事業	日本財団	妊娠SOS事業運営補助金	14,110,000円

(6) 主な施設・事業所整備事業

事業所名	工事名	請負業者	工事価格
パークタウンホーム	仮称) パークタウンホーム新築工事	辻野建設工業株式会社	275,000,000円

(7) 入札 (一般・指名) 執行状況

入札名	入札日	落札業者名	契約金額
仮称) パークタウンホーム新築工事	2023年8月23日	辻野建設工業株式会社	275,000,000円

2. 事業運営

(1) 第2種社会福祉事業

- 1) 障害児通所支援事業の経営
- 2) 障害福祉サービス事業の経営
- 3) 小規模住居型児童養育事業の経営
- 4) 移動支援事業の経営
- 5) 相談支援事業の経営

(2) 公益事業

- 1) 診療所の設置経営
- 2) 日中一時支援事業の設置運営
- 3) 札幌市障がい児等療育支援事業
- 4) 当別町こども発達支援センター専門職員指導業務
- 5) 当別町こども発達支援センター発達支援専門員派遣業務
- 6) 認可外保育園の設置経営
- 7) 西尾リプロセス心理臨床研究所の設置運営
- 8) 札幌市あかしあ学園の給食調理業務
- 9) 妊娠SOS相談事業
- 10) 札幌市障がい児フォスタリング事業
- 11) 一般社団法人共生社会プラットフォーム事務局の設置
- 12) 虐待防止のためのSNS相談事業
- 13) 子ども・子育て支援等推進調査研究事業 (障害児支援における安全管理等に関する調査研究)

II 幼児部門

むぎのこ児童発達支援センター（児童発達支援センター）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	56	57	57	58	59	60	60	59	59	59	59	60	59.4
北区	17	18	17	17	18	18	18	18	18	18	18	18	17.75
西区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
手稲区													
中央区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
千歳市													
計	79	81	80	81	83	84	84	83	83	83	83	84	82.3

(2) 利用延べ人数

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	1192	1258	1367	1317	1239	1368	1418	1298	1296	1301	1312	1392	15758

(単位 人)

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常勤	11	11	11	11	11	11	11	11	10	10	10	10
保育士	常勤	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
指導員	常勤												
栄養士	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
保育士	非常勤	15	15	15	15	15	15	15	15	15	14	14	14
指導員	非常勤	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
調理員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
その他	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4
合計		82	82	82	82	82	82	82	82	81	80	80	81

2. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回作成、前期後期それぞれ評価、面接し、同意を頂いた。
- ・計画に基づいた療育、保護者に子育てへのアドバイスを行うことが出来た。
- ・子どもの発達に合わせた目標を設定し、支援する事を心掛けた。
- ・保護者の意向、子どもの能力に合わせたアセスメントを行ない、作成する事が出来た。
- ・令和6年度の報酬改定に合わせた個別支援計画

(2) 主な日中活動

- ・基本 朝の会、リズム、手遊び、わらべ歌、絵本読み聞かせ、公園遊び（遊具設定遊び、水遊び、鬼ごっこ、探索散歩、そり遊び）
- ・室内遊び（サーキット、音楽遊び、ストップゲーム、平均台、トンネル、バルーン）
- ・園庭（水遊び、泥んこ遊び、プール遊び、そり遊び、シート滑り）
- ・親子遊び（とっちゃんかっちゃん ギッタンパッコン、たけこがはえた、バス遊び でこちゃんはなちゃん、ふくすけさん、ぞうきん、にほんばし、うめとさくら、おじいさん おばあさん、おすわりやす等）

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	始業式 避難訓練
5月	父親参観週間、お誕生会、避難訓練 園医健診、美香保遠足、さとらんど遠足
6月	お誕生会、総合避難訓練、父親参観日
7月	避難訓練、お泊まり会、海水浴、お誕生会
8月	I期終業式、II期始業式、避難訓練、お誕生会
9月	運動会、避難訓練、お誕生会
10月	避難訓練、お誕生会、丸山動物園遠足
11月	生活発表会総練習、避難訓練、お誕生会、園医健診
12月	生活発表会 大避難訓練、クリスマス会、もちつき、お誕生会、II期終業式
1月	III期始業式、お正月会、避難訓練、父親参観週間、お誕生会
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練
3月	ひなまつり、卒園感謝会、避難訓練、修了式・離任式、お誕生会

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検(法定点検年2回)

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	理事長・園長	氏名	北川聡子	選任届出年月日	2015年4月17日
----	--------	----	------	---------	------------

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	2023・10・20	避難・消火・通報・救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	2023・11・21	避難・消火・通報・救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	2024・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	2024・2・22	避難・消火・通報・救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	2024・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

(2)非常災害に対する訓練の状況

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月1回	12回		管理者・児童発達支援 管理者・保育士・児童指導員	18名	
クラス会議	週1回	168回		管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員	15名	クラスごとに開催(3~4名)
ケースカンファレンス会議	必要時	回		管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員	15名	クラスごとに開催(3~4名)
個別支援計画会議	前期 後期	2回		管理者・児童発達支援 管理責任者・保育士・児童指導員	15名	各お子さんに対し年2回実施
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
2/1	クラスの携帯が繋がりにくい事が多い事と、土日にクラス携帯から折り返しがないと話を聞いた。	クラス担任に電話に出る、もしくは折り返すようにしてもらった。また、土日はクラス携帯は繋がらな

		いので、緊急携帯に掛けてえもらうよう保護者に伝えた。
2/1	子どもが寒い中、ジャンパーの中半袖のシャツで帰ってきた。季節に合った服装をさせて欲しいという要望だった。	子どもが脱いでしまう事もあるので、職員に打ち合わせで着せてもらうよう周知した。また、乗車前の降園準備で必ず長袖を着られるようにする事を伝えた。

8. 評価と展望

評価

- ・前年度に引き続き、コロナ禍に配慮し、感染防止対策をしながら保育を行なう事が出来た。5月からは5類の扱いになったが、引き続き手洗い、消毒、換気等の対策を行なった。
- ・発達支援の質を高められるよう、様々な研修を実施した（さくらさくらぼリズム、エピソード、アセスメント、かくだつリモート研修、愛着障害コンサルテーション、発達等基礎研修、年代別研修等を実施）。
- ・新人研修を行ない、実践や知識に繋がる内容を盛り込んで、行なう事が出来た。
- ・親子発達支援や事業所内相談支援を通じて、家族の困り感や子どもの発達段階の把握に努め、より家族に寄り添った支援が出来るよう努めた。
- ・年長クラスについては、

展望

- ・2024年度は、児童発達支援センターの中核機能に向けた体制を作っていく。利用している家族の他、地域の家族にも支援していくという視点を持って、療育を行なっていく。
- ・報酬改定があるので変更点に対応していく。正しく制度を理解する事で、家族への説明等丁寧に行なえるよう配慮していく。
- ・個別支援計画は五領域の要素を盛り込んで作成していく。子ども1人1人に合わせた支援を作り上げる意識を持って支援する。
- ・行事もコロナ禍前の体制に徐々に戻していく。子ども達が家族と一緒に様々な行事に楽しんで参加出来るよう支援する。

保育所等訪問支援

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数(新規:1)

〈新規〉

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
東区				1			1						2
計													2

〈延べ〉

(単位 人)

区市町村	延べ	(新規)
東区	20	(1)
北区	3	
中央区	1	
計	24	(1)

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計				1			1						2

2. 支援業務

(1) 訪問支援計画(個別支援計画)の策定

- ・利用ニーズを把握し、アセスメントを実施し、調整会議を経て計画書を作成した。

(2) 主な活動

- ・障がい児に対する支援（直接支援：集団生活に適応するための専門支援）を実施した。

・訪問先施設の職員に対する支援（間接支援：支援方法等の支援）を実施した。

3. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
訪問支援員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	常 勤												
保育士	常 勤												
保育士	非常勤												
合計		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4

4. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

5. 評価と展望

- ・訪問支援のニーズを把握し、アセスメントに基づき、訪問支援を実施した。
- ・ニーズに応じた、支援量の確保が困難。
- ・コロナ感染拡大予防の対応とし、訪問数を抑制した。

児童デイサービスむぎのこ（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	10	10	12	12	12	14	13	13	13	13	13	13	11
北区	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2
計	12	12	15	15	15	17	16	16	16	16	16	16	12

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	192	218	278	264	246	298	278	282	277	280	257	275	3145

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・事業所経営：4月当初は利用人数が少なかったが、6月以降随時入園児を受け入れ、安定した利用人数で、運営する事が出来た。
- ・子ども1人1人を療育の中でしっかりアセスメントして、問題行動の裏に在るものを検討しながら必要な支援や関わりを行なう事が出来た。
- ・職員がCSPに取り組む事は勿論、家族支援の中でもCSPを共有し、般化する事で子どもとの肯定的な関わりを心掛ける事が出来た。
- ・緊急性の高い家庭への家庭訪問や、泊りの対応、相談室に繋げるなど臨機応変に行なう事ができた。

〔展望〕

- ・家族支援では、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめ

に情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。

- ・職員同士声を掛け合い、目と目、言葉と言葉、心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・必要な支援を実際に受けられるまでに間があいてしまわないようにスピーディに対応していく。

プレイ（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	9	10	10	10	11	12	12	12	12	12	12	12	11.16
北区	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2	2	3.66
白石区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中央区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	12	13	13	13	15	16	16	16	16	16	15	15	14.66

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	187	227	259	229	214	262	244	240	249	233	184	229	2757

8. 評価と展望

[評価]

- ・4月から～6月までは土曜日開所をしていたが、7月からは土曜は開所を止め、月曜日～金曜日までの開所になった。
- ・11月にはたくさんの職員、子供がコロナに感染した為、休園した。経営面では例外的な報酬算定で対応していった。
- ・家族支援が必要な家庭に対して、関係機関と連携しながら家族支援を行うことができた。1名を一時保護をし、安全を守っていった。
- ・療育の中や、保護者との面談で子どもや家庭をアセスメントして、職員間で関わり方を統一して支援することができた。
- ・虐待防止の練習を毎週1回行い、実際の場面では職員が交代し子どもの安全を守っていった。

[展望]

- ・困り感のある家庭が今後も多く通園する事が予測されるので、家族の背景を理解した中で対策を考え、ニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目、言葉と言葉、心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。
- ・引き続き、イライラした時にはすぐに交代するようにし、虐待を防止していく。

セーブネス（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	9	9	9	11	11	12	12	12	13	14	14	14	10.9
北区	6	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4.8
中央区	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1.5
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
江別市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	20	19	19	21	21	22	21	21	22	22	22	22	21

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	170	177	195	190	174	204	224	203	193	199	196	206	2011

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者・児童 発達管理責任 者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
機能訓練 担当職員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
調理員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		9	9	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・発達支援プランを、2月・8月・2、3月にアセスメント面接をして、3月・9月に作成、契約終了児童には3月に最終評価を作成した。また、途中入園児については随時作成した。
- ・事業所内相談支援を随時行い、保護者の意向や要望を聞き取り、利用できる社会資源を紹介し、家庭での養育の負担軽減に努めた。
- ・発達支援プランは療育の中で重点的に褒める指針に用い、保護者とも共有しながら支援に活かす事が出来た。

(2) 主な日中活動

リズム、朝の会、公園遊び(すべり台、砂遊び、水遊び、ターザンロープ、鬼ごっこ)、探索散歩、設定遊び(縄とび、毛布ブランコ、王様、音楽遊びなど)、親子遊び(おんぶ遊び、わらべ歌、くすぐり遊びなど)、アート(描画、粘土、その他製作)、クッキング、お楽しみ会

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式、お誕生会、カーペンター、避難訓練
5月	家庭訪問、お誕生会、父親参観、避難訓練、遠足
6月	お誕生会、避難訓練、
7月	お誕生会、避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、お泊り会、お誕生会、避難訓練
9月	運動会、お誕生会、避難訓練
10月	遠足、お誕生会、カーペンターズ、避難訓練、運動会、ハロウィン
11月	お誕生会、生活発表会、避難訓練、クッキング
12月	もちつき、お誕生会、クリスマス会、II期終業式、避難訓練
1月	III期始業式、お正月会、お誕生会、大避難訓練
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練
3月	ひなまつり、お誕生会、クッキング、避難訓練、III期修了式

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検(法定点検年2回)

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	児童指導員	氏名		選任届出年月日	
----	-------	----	--	---------	--

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
23・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	23・10・20	避難・消火・通報・救出・その他
23・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	23・11・17	避難・消火・通報・救出・その他
23・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	23・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
23・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	24・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
23・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	24・2・16	避難・消火・通報・救出・その他
23・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	24・3・15	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員・	4人	
クラス会議	毎週金曜	42回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	4人	
ケースカンファレンス会議	最終水曜	12回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	4人	
個別支援計画作成会議	前期・後期	2回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	4人	
管理者会議	月1回	12回		管理者	1人	
児発管会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1人	
監査・コンプライアンス委員会	年12回	12回		児童発達支援管理責任者	1人	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
10月9日	宮原似愛さん、17時送迎の車内で他児に「死んで」など汚い言葉を言われてつらくなっている。と父からの申し出。	車内での様子を確認。本児と一緒に暴言を言って興奮気味に笑っており、添乗職員が本児の心情に気付かず守れなかったことを謝罪。当該児童とコースを変えて送迎する。

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・事業所経営：年間を通して定員を割る日があり、安定した経営とはいかなかった。
- ・幼稚園や保育園に登園しながら降園後に当所を利用する形を基本としながら、午前帰りや登園渋りなど個々のニーズに合わせて対応した。
- ・難聴児の支援を複数のグループや個別で行い、訓練ではない遊びや音楽活動からの聴覚活用支援を行った。
- ・異年齢の交流、健聴児と難聴児の交流を行うことができた。

〔展望〕

- ・難聴児支援は中核的支援を行うセンターに引継ぎ、幼稚園在籍の児童と、朝から登園する児童の支援を行う。
- ・それぞれの家族背景、困り感を捉えて、必要な支援を行っていく。
- ・一人一人を肯定的に受け止めて自信をつけ、年長児らしく仲間と様々な経験に挑戦していく

シーランチ（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	9	10	10	10	11	12	13	13	13	13	13	13	11.6
北区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計	12	13	13	13	14	15	16	16	16	16	16	16	13.5

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	180	187	207	233	221	243	237	227	247	224	191	232	2629

8. 評価と展望

[評価]

- ・事業所運営：7月8月で新入園児も増え、安定した利用人数で事業所運営ができた。
- ・コロナウイルスの感染等もあったが、例外的な報酬算定を行い、安定した運営を保つことができた。
- ・発達支援：SCALEや褒める関わりを意識し、日々の活動や年長活動から、子どもたちの自己肯定感や自信に繋げ、仲間意識や相手を思いやる気持ちを育んだ。
- ・クラス会議などで、子どもや保護者の様子を共有したり、子どもの想いや自分の気持ちを振り返る機会となり、支援に繋げていった。
- ・家族支援：事業所内相談支援の実施や電話で連絡をとり、家族の困り感を聞き取り支援に繋げた。就学への不安にも寄り添って、サポートしていった。家族支援が必要な家庭も多かったが、きょうだい児の事業所の担任や、相談室と連携して必要な支援に繋げることができた。

[展望]

- ・困り感のある家庭が今後も多く通園する事が予測されるので、家族の背景を理解した中で対策を考え、必要があれば相談室や関係機関に繋げてニーズにあった支援を継続して行なっていく。また、こまめに情報共有を行い、職員、パートの連携を大切にする。
- ・職員同士声を掛け合い、目と目心と心を大切に連携してチームで子どもの支援に取り組む。
- ・職員が研修に積極的に参加し、様々な学びを深めて支援に活かしていく。
- ・年長児が中心になる事業所になる。就学等で不安になる保護者も多いので、保護者の声を聴きながら、子どもにとってどの選択をすることがいいのかを面談を重ねて保護者と一緒に考えていく。

ヨシア（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	8	8	8	8	8	8	9	9	10	10	11	11	9
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	0	0	1.5
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	12	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	13	12.5

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	199	210	239	238	191	216	202	200	215	201	182	223	2516

8. 評価と展望

[評価]

- ・事業所経営：契約人数が少ない中で、毎日登園できるように声をかけたり、事業所内相談支援面接等の加算を算定

するなど経営努力を行った。

・子ども1人1人の育ちの背景を汲み取り、スペシャルニーズのあるお子さんは個別に関わるなど配慮をしながら療育を行った。

・家族支援として、グループカウンセリングへの参加に繋げたり、ニーズのある保護者は個別カウンセリングにつなげた。また、大変な家庭にはかけつける支援を行った。一時保護1名。

・就学に向けて、不安を聞き、一緒に教育相談に行くなど支援を行った。

〔展望〕

・スペシャルニーズのあるお子さんが多いクラスだった為、放課後等デイサービスに移行後も手厚い継続した支援を行う為に、引継ぎをしっかりと行い、今後もサポートしていく必要がある。

・引き続き子どもの安全を一番に職員同士が目と目、言葉と言葉、心と心で連携していく。

・職員が研修に参加して、知識や専門性を高めて、より良い療育を提供していけるように心がける。

ライオン（児童発達支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	15	15	16	17	17	15	15	15	17	17	17	17	16
北区	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.2
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置													1
計	17	17	18	18	18	16	16	16	18	18	18	18	19

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	217	240	255	209	233	223	227	196	219	209	222	243	2693

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	0	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
児童指導員	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	常 勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保育士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

・年2回、個別支援計画の作成を行い、保護者への説明と同意を実施した。個別支援計画の策定に必要なモニタリングシ

- ト・原案・個別支援会議録・個別支援計画は、ファイリングして保管している。また、保護者に控えを配布している。
- ・事業所内相談支援を随時行い、保護者の意向や要望を聞き取り、寄り添った支援計画を作成する事に繋げた。
 - ・発達支援プランは療育の中で重点的に褒める指針に用い、保護者とも共有しながら支援に活かす事が出来た。

(2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、公園遊び（遊具、水遊び、鬼ごっこ等の設定、探索散歩、そり滑り）
- ・設定遊び（大根抜き、はないちもんめ、じゃんけん列車、粘土遊び、フルーツバスケット）
- ・園庭（ターザンロープ、水運び、泥んこ遊び、雪遊び・そり滑り・シート滑り）
- ・制作（こいのぼり、ハロウィン、豆まき、ひなまつり等、季節の制作）
- ・プール、三角山登山、長距離散歩等、身体作りに繋がる活動

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式、I期始業式、お誕生会、カーペンター、避難訓練
5月	お誕生会、父親参観、避難訓練、
6月	お誕生会、総合避難訓練、遠足
7月	お誕生会、避難訓練、海水浴、クッキング
8月	I期終業式、II期始業式、お誕生会、避難訓練
9月	運動会、お誕生会、避難訓練、クッキング
10月	遠足、お誕生会、クッキング、カーペンター、避難訓練
11月	お誕生会、避難訓練、
12月	もちつき、生活発表会、お誕生会、大避難訓練クリスマス会、II期終業式
1月	III期始業式、お正月会、お誕生会
2月	豆まき、お誕生会、避難訓練、クッキング
3月	ひなまつり、お誕生会、避難訓練、III期修了式

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器、誘導灯の点検(法定点検年2回)

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
23・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	23・10・20	避難・消火・通報・救出・その他
23・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	23・11・21	避難・消火・通報・救出・その他
23・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	23・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
22・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	24・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
22・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	24・2・22	避難・消火・通報・救出・その他
22・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	24・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員	4名	
クラス会議	毎週火曜	48回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・保育士	4名	
ケースカンファレンス会議	必要時	1回		児童発達支援管理責任者・児童指導員	4名	
個別支援計画作成会議	前期・後期	2回		児童発達支援管理責任	4名	

				者・児童指導員		
児発管会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・クラスの構造化を行い、見通しを持って過ごせるように環境を設定した。
- ・集団活動の中でも、個別の関わりを大切にし、大人との愛着関係・安心感を形成できるように肯定的に関わっていった。
- ・親子発達支援、事業所内相談支援を行い、家族支援に繋げていった。

〔展望〕

- ・引き続き、構造化や職員連携し、安心して過ごせるクラスづくりを行う。
- ・事業所内相談支援や電話連絡で、保護者とのやりとりを行い、困り感をキャッチし解決に繋げていく。
- ・職員が研修に積極的に参加し、専門性を高めていく。

ライオン（重症心身障害児対応）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 6人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	14	14	14	14	13	13	13	13	13	13	13	13	13

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	150	144	172	157	142	143	126	149	135	127	135	145	1725

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
機能訓練	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
児童指導員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
看護師	非常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	6

合計		15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	16
----	--	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月、10月)個別支援計画を作成した。
- ・保護者との面接を行った。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・朝の会、リズム、公園遊び、園庭遊び、設定遊び、帰りの会、制作

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式、I期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観、避難訓練
6月	避難訓練
7月	お泊り会、避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、避難訓練
9月	運動会、避難訓
10月	カーペンターズ、避難訓練
11月	生活発表会、避難訓練
12月	もちつき、クリスマス会、II期終業式、避難訓練
1月	III期始業式、お正月会、避難訓練
2月	豆まき、避難訓練
3月	ひなまつり、避難訓練、III期修了式、卒園式

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家健司	選任届出年月日	2021年2月1日
----	------	----	------	---------	-----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
23・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	23・10・20	避難・消火・通報・救出・その他
23・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	23・11・21	避難・消火・通報・救出・その他
23・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	23・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
22・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	24・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
22・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	24・2・22	避難・消火・通報・救出・その他
22・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	24・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週火曜日	40回		児童発達支援管理責任者、看護師、児童指導員、指導員	4名	
職員会議	月1回	12回		〃	4名	
個別支援計画作成会議	年2回、	2回		〃	4名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容 特になし	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・子どもたちを効果的に褒めていくことを繰り返し行うことによって子どもたちが自信を持ち自己主張をすることができるようになった子が多くなってきた。
- ・医療的ケアのある子どもに対して安全に留意して行う事ができた。

〔展望〕

- ・安心、安全を心掛けて子どもらしい生活を保障する。
- ・保護者の話を聞いてきながら家族に必要な支援を行う。
- ・医療的ケアのある子どもに安全に対応する。
- ・看護師、児童指導員、リハビリの職員など連携してチームで支援を行う。

むぎのこ保育園（企業主導型保育園）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	25	25	25	25	25	27	27	27	27	27	28	28	28
北区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
南区													
白石区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
豊平区													
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区													
措置													
計	32	32	32	32	32	34	34	34	34	34	35	35	33

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	559	595	639	598	547	658	699	614	617	577	609	669	7381

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	非常勤	4	4	4	4	4	4	6	6	5	5	5	5
子育て支援員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4
調理員	非常勤	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保育士	非常勤	8	8	8	8	8	8	7	7	7	7	7	7

合計		24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
----	--	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・月間個別指導計画作成・評価を行う。
- ・グループカウンセリングなどを通して保護者へのアドバイス。

(2) 主な日中活動

- ・朝の会・リズム・散策散歩・公園遊び(遊具・水遊び・雪遊び・シート滑り・そり滑り)
- ・園庭遊び(ターザンロープ・水遊び・プール遊びなど)
- ・設定遊び(毛布ブランコ・布乗り遊び・音楽遊び・わらべうた遊び・サーキット・王様)
- ・山登り・アート(描画・季節の制作・折り紙)

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入園式・始業式・お誕生会・カーペンター・避難訓練
5月	遠足・お誕生会・避難訓練・父親参観週間
6月	お誕生会・避難訓練
7月	お誕生会・避難訓練・お泊り会
8月	終業式・始業式・お誕生会・避難訓練
9月	お誕生会・避難訓練・クッキング
10月	運動会・秋の遠足・お誕生会・避難訓練
11月	お誕生会・避難訓練・クッキング
12月	生活発表会・餅つき・クリスマス会・お誕生会・終了式・避難訓練
1月	始業式・お正月会・お誕生会・避難訓練
2月	豆まき・お誕生会・避難訓練
3月	ひな祭り会・卒園感謝会・卒園式・お誕生会・終了式・お誕生会・避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・
- ・

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	児童指導員	氏名	菊地愛	選任届出年月日	令和元年8月1日
----	-------	----	-----	---------	----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	2023・10・20	避難・消火・通報・救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	2023・11・21	避難・消火・通報・救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	2024・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	2024・2・22	避難・消火・通報・救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	2024・3・21	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
合同職員会議	毎月	12回	5回	管理者・保育士	4名	
クラス会議	毎週金曜日	50回		管理者・保育士	4名	
防災委員会	毎月	12回		保育士	1名	
給食委員会	毎月	12回		保育士	1名	

虐待防止委員会	毎月	12回		管理者	1名	
苦情処理委員会	毎月	12回		管理者	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
1月 20日	岩橋ゆうしんくん、帰り送迎でチャイルドシートから落ちて顎の下出血母に確認して受診せずに帰ってしまった。	統括部長と管理者で自宅へ謝罪 今後は必ずクリニック受診と送迎部でチャイルドシートのチェックを行うことを伝える

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・企業主導型保育事業として8年目を迎える。4月より32名よりスタートしたが3月には35名と定員に達している。
- ・今年度は0歳児から5歳児までのクラス編成であり、各クラスとも事業クラスと交流をしたり、縦割りでの活動ができています。

- ・前年度引き続き日誌、日報の管理整備や健康診断、毎日の視診、毎日のクラスのねらいや評価などを行い日々の子どもたちの対応を行うことができた。

- ・安心・安全対策として日々の0、1歳児の5分ごとの睡眠チェック、2歳以上の10分ごとのチェックなどを行い、SIDの予防に努めることができた。人数確認や安全チェック表、送迎チェック業務などを行った。

- ・それぞれの年齢に応じた園庭遊び、公園遊び、設定遊びなどを工夫し、基本のSCALEで子どもたちを肯定的に関わることができた。

- ・月一回の保護者とのグループカウンセリングを開催して保護者の困り感、兄弟児としての子どもへの対応などを伝えることが出来ている。

- ・保護者との個人面談も行っている。

- ・企業主導型保育施設長研修やキャリアアップ研修、救命救急講習などを積極的に受講し保育の質の向上や安全な保育体制がしっかり行えるようにした。

育成協会と子ども未来局の立ち入り調査に向けてしっかりと書類を整備できた。

〔展望〕

- ・引き続き、グループカウンセリングで保護者とのコミュニケーションを取り兄弟児クラスとの連携を図り親子支援を行なっていく。さらに個人面談を計画に組み入れていく。

- ・今年度は新人が入ってきているのでさらにS/Vを充実させて職員間の共通理解を図り保育の質の向上を図っていく。

- ・安全計画に基づいて人数確認、避難訓練、不審者対応、アレルギー対応などの安全研修をしっかりと行い、安全、安心の保育所運営をする。

- ・土曜日保育を行う。

- ・事業所の運営について人事、経理とも連携を深めていく。

- ・内部研修・外部研修を積極的に受けていく。

- ・育成協会と子ども未来局の立ち入り調査に向けて書類の整備をしていく

札幌市みかほ整肢園（医療型児童発達支援センター）〈指定管理〉

※ 書式が異なるため別紙参照

Ⅲ 学童部門

プレイ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
南区													
白石区													
豊平区													
中央区	1	1	1	1									0.33
手稲区													
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	17	17	17	17	16	16	16	16	16	16	16	16	16.3

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	243	242	274	250	244	263	274	240	243	225	216	244	2,958

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者兼児童 発達支援管理 責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保 育 士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
心理士	常 勤												
その他	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回（4月・10月）個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動（大縄跳び、ティーボール、キャッチボール、サッカー、音楽遊び、鬼ごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）

(3) 余暇活動支援（行事・旅行・クラブ活動等）

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・22	避難・消火・通報 救出・その他	2023・10・21	避難・消火・通報 救出・その他
2023・5・20	避難・消火・通報 救出・その他	2023・11・18	避難・消火・通報 救出・その他
2023・6・17	避難・消火・通報 救出・その他	2023・12・16	避難・消火・通報 救出・その他
2023・7・22	避難・消火・通報 救出・その他	2024・1・20	避難・消火・通報 救出・その他
2023・8・19	避難・消火・通報 救出・その他	2024・2・17	避難・消火・通報 救出・その他
2023・9・16	避難・消火・通報 救出・その他	2024・3・17	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週月曜日	50回	0回	管理者兼児発管・心理士・保育士	3名	
ケースカンファレンス	毎週月曜日	50回		管理者兼児発管・心理士・保育士	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		管理者兼児発管	1名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		管理者兼児発管	1名	
職員会議	月1回	12回		管理者兼児発管・心理士・保育士等	4名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・2年生のクラスでメンバーもほぼ同じだったため、お友達関係もやり取りが上手になり関係を楽しむ様子が見られていた。大人も介入しながら助けを求めたりすることができ、大人との関係も広げることが出来た。
- ・学習では、子どもたちの困り感に合わせて大人がついて行い、イメージが出来るように物を用意しながら学びに繋

げた。学びの時間では、性教育や算数、国語の文章題など、一緒に考えて共有することが出来た。子どもたちも、楽しんで参加することが出来た。

- ・昨年度に引き続き面談を行い、家族での様子や困り感の把握をしショートやヘルパーなどに繋げることが出来た。

〔展望〕

- ・子ども達一人一人が自己肯定感を持ち、興味や関心を持ち挑戦へつなげることが出来るように大人が肯定的にかかわり、職員間連携していく。
- ・子どもたちがわかりやすく生活をしたり活動をしたりすることができるように構造化をととのえる。
- ・考えて意見を出したりすることが増えてきたため意見を出すことが出来たことを褒めながら関係の発展へとつなげていく。
- ・家族との面談などを通して困り感や家庭での様子を把握し、保護者と共に子育てが出来るように関わっていく。
- ・必要書類など書類整備を計画的に行い不備のないように、みんなでチェックし揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

スタディ(放課後等デイサービス)

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
計	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	246	247	285	247	237	256	251	229	253	236	235	240	2962

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回（4月・10月）個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、公園活動、帰りの会
- ・設定活動（椅子取りゲーム、大縄跳び、リズム、ドッジボール、鬼ごっこ、お店屋さんごっこ、キャンプごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	クリスマス会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2022・4・21	避難・消火・通報 救出・その他	2022・10・20	避難・消火・通報 救出・その他
2022・5・19	避難・消火・通報 救出・その他	2022・11・17	避難・消火・通報 救出・その他
2022・6・16	避難・消火・通報 救出・その他	2022・12・15	避難・消火・通報 救出・その他
2022・7・21	避難・消火・通報 救出・その他	2023・1・19	避難・消火・通報 救出・その他
2022・8・18	避難・消火・通報 救出・その他	2023・2・16	避難・消火・通報 救出・その他
2022・9・15	避難・消火・通報 救出・その他	2023・3・15	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週月曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・保育士・指導員	4名	
ケースカンファレンス	毎週月曜日	50回		児発管・児童指導員指導員	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員指導員	3名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	

職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・指導員・保育士	4名	
------	-----	-----	--	-------------------	----	--

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
4.28	友達に筆箱を壊された。	弁償を申し出る
10・5	友達との喧嘩で左腕に赤みがあり心も傷ついている	家庭訪問し謝罪。クラスで心のケア
1.12	友達に歯並びに関する悪口を言われた。	家庭訪問し謝罪。クラスで学活し、個別で心のケア

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・2年生になり、学校の行き帰りの支援、学校での支援・不登校支援が増えた。疲れて帰ってくる日が増えたが、フロント、学習、ミーティングの流れに沿って活動することが増えていた。
- ・夏休みには、中小屋小学校での活動を行った。
- ・自分でも考えて行動できるような話し合いの時間を定期的に設け、どの意見も尊重しあえるような働きかけを行った。
- ・2年生が楽しめるような活動を2年生の3クラスで協力して考え、お店屋さんごっことして1年生を招待した。クリスマス会は2年生3クラス合同で行い、クラス枠を越えて楽しむことができた。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決し関係は修復できるという経験を重ねることが出来た。
- ・室内活動の中で、子ども発信のアイデアを活かし工作を作り、キャンプごっこ、お店屋さんごっこ、映画館ごっこなど協力しあい、大人が介入しながら遊びを展開していくことが出来た。
- ・事業所内相談支援面談を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来たり、ヘルプに駆けつけるなどの家族支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・子ども一人一人の気持ちに寄り添った支援を引き続き行う。
- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化を行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。また状況に応じて改善していく。
- ・事業所内相談支援面談を行ったり、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。
- ・アレルギー対策をマニュアルに基づいて確実にを行い、子どもの命を守る。

ライオン（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	31	31	㉑	31	31	31	㉒	32	32	32	32	32	31.5
北区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

計	37	37	37	37	37	37	38	38	38	38	38	㊸	37.5
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---	------

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	270	299	290	286	262	277	289	257	295	286	272	272	3,355

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1		1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
心理士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
音楽療法士	常 勤	1	1			1	1	1	1	1	1	1	1
合計		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習(宿題・学びの時間)、スキル練習、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動(フルーツバスケット、大縄跳び、ドッジボール、風船パレー、音楽遊び、鬼ごっこ、お店屋さんごっこ等)
- ・制作、室内活動(ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等)

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	クリスマス会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2022・4・21	避難・消火・通報 救出・その他	2022・10・20	避難・消火・通報 救出・その他
2022・5・19	避難・消火・通報 救出・その他	2022・11・17	避難・消火・通報 救出・その他
2022・6・16	避難・消火・通報 救出・その他	2022・12・15	避難・消火・通報 救出・その他
2022・7・21	避難・消火・通報 救出・その他	2023・1・19	避難・消火・通報 救出・その他
2022・8・18	避難・消火・通報 救出・その他	2023・2・16	避難・消火・通報 救出・その他
2022・9・15	避難・消火・通報 救出・その他	2023・3・15	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週月曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・心理士・音楽療法士	4名	
ケースカンファレンス	毎週月曜日	50回		児発管・指導指導員音楽療法士	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員・音楽療法士	1名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・心理士・音楽療法士	4名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・2年生になり、学校の行き帰りの支援、学校での支援・不登校支援が増えた。疲れて帰ってくる日が増えたが、フロント、学習、ミーティングの流れに沿って動くことが出来るようになった。
- ・夏休みには、中小屋小学校での活動を行った。
- ・友達と、考えながら話せるようなグループ活動も行った。
- ・1年生が楽しめるような活動を2年生の3クラスで協力して考え、お店屋さんごっことして1年生を招待した。・クリスマス会は2年生3クラス合同で行い、クラスを越えて楽しめた。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・学びの時間もは、楽しい時間となるように工夫を積み重ねた（時間の学びでは、段ボールで一人ずつ時計を作って、針を動かして時間を学ぶ等）。
- ・みんなの前で話す事が難しい子が、年度の後半では話せるようになった。
- ・始め大人しく自己主張が弱い女子も、女子会を通して後半は元気になり、表情も良くなった。
- ・室内活動の中で、ドッジボールや風船バレーを楽しみ、チームで協力したりルールを理解して守ることが出来るようになった。
- ・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来たり、ヘルプに駆けつけるなどの支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・子ども一人一人の気持ちに寄り添った支援を引き続き行う。
- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化をしっかりと行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行ったり、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。

- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

ユスタバ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	16	16	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	20.1
北区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.6
手稲区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
措置													
計	24	24	30										22.5

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	235	248	455	410	407	438	451	403	437	397	376	400	4657

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者 兼 児童発達支援管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	3	3	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5
保育士	常 勤	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
保育士	非常勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指導員	常 勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指導員	非常勤	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1
合計		8	8	9	11	10	10	10	10	10	10	10	10

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・発達支援プランは年二回（4月、10月）に作成した。
- ・家庭訪問、面接の記録などで保護者にクラスに対しての意向、要望などの聞き取りを行う
- ・個別支援計画を保護者に個別に説明し、同意を得た。
- ・半年間モニタリングを行い、評価した。

(2) 主な日中活動

- ・夕の会、リズム、音楽遊び、雑巾がけ、わらべ歌遊び、ルールのある室内活動。
- ・公園遊び、散歩などの戸外活動。
- ・プリント学習、マッチング等の学習支援。
- ・製作などの室内活動。（クッキングは感染防止の為行わなかった）

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	I期始業式、入学式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	I期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	II期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	カーペンター、避難訓練
12月	学童発表会、避難訓練、II期終業式、冬休み活動
1月	III期始業式、お正月会、総合避難訓練、冬休み活動
2月	豆まき、避難訓練、父親参観週間
3月	卒業式、III期修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検（法定点検年2回）
- ・毎日の危険個所点検

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理者	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	-----	----	-------	---------	-----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報 救出・その他	2023・10・20	避難・消火・通報 救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報 救出・その他	2023・11・17	避難・消火・通報 救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報 救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報 救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報 救出・その他	2024・1・19	避難・消火・通報 救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報 救出・その他	2024・2・16	避難・消火・通報 救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報 救出・その他	2024・3・16	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ケースカンファレンス	毎週火曜	44回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士	3名	
クラス会議	毎週火曜	44回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士	3名	
個別支援作成会議	年2回(前期・後期)	2回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士	3名	
管理者・児発管会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回第1木曜日	12回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士	3名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・ 小学1年生～4年生に加えて6月からは20名定員となり小学校高学年や中学生の利用が増えて、年齢や発達段階それぞれにあった活動への参加の仕方を意識した。
- ・ 活動や移動の時は大人だけでなく子ども同士でも手をつなぐことができるようにバディを習慣化させる事で大人と手を繋ぐだけでなく子ども通し手を繋いで歩ける子が増えた。
- ・ 時間排泄や登園時・降園時の身支度の支援で、ADLの向上に向けて毎日の練習を行った。
- ・ 個別でのスキル練習、予防的教育法、効果的な褒め方を意識して関わりを持つことでその子どもが持つ問題行動の改善に繋がった。
- ・ 個別の家庭のニーズに沿ってショートステイや居宅介護支援事業等と連携する事で子どもや家庭の困り感に対応して支援を行った。

〔展望〕

- ・ 個別支援計画に基づいて個々の学習面や生活スキルの獲得に向けて支援を行っていく。
- ・ 時間排泄や身支度・身辺整理等のQOLの獲得が出来るように関わっていく。
- ・ 記録や日誌等書類のチェック体制を整備して期日を守る。

ハーモニー(放課後等デイサービス)

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	15	15	12	12	12	12	12	13	13	13	13	13	12.9
北区	8	7	7	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.6
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
南区													
白石区													
豊平区													
中央区	1	1											0.2
手稲区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1.2
計	28	27	23	21	21	21	21	22	22	22	23	23	22.8

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	248	249	276	243	228	232	258	246	235	236	217	246	2914

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者兼児童発達支援管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	常勤	1	1										
保育士	非常勤			1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	常勤			1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
指導員	非常勤	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・発達支援プランは年二回（4月、10月）に作成した。
- ・家庭訪問、面接の記録などで保護者にクラスに対しての意向、要望などの聞き取りを行う
- ・個別支援計画を保護者に個別に説明し、同意を得た。
- ・半年間モニタリングを行い、評価した。

(2) 主な日中活動

- ・夕の会、リズム、音楽遊び、雑巾がけ、わらべ歌遊び、ルールのある室内活動。
- ・園庭、公園遊び、散歩などの戸外活動。
- ・プリント学習、マッチング等の学習支援。
- ・製作などの室内活動。（クッキングは感染防止の為行わなかった）

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	I期始業式、入学式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	I期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	II期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	カーペンター、避難訓練
12月	学童発表会、避難訓練、II期終業式、冬休み活動
1月	III期始業式、お正月会、総合避難訓練、冬休み活動
2月	豆まき、避難訓練、父親参観週間
3月	卒業式、III期修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・火災報知器、消火器の点検（法定点検年2回）
- ・毎日の危険個所点検

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	管理者	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	-----	----	-------	---------	-----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報 救出・その他	2023・10・20	避難・消火・通報 救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報 救出・その他	2023・11・17	避難・消火・通報 救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報 救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報 救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報 救出・その他	2024・1・19	避難・消火・通報 救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報 救出・その他	2024・2・16	避難・消火・通報 救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報 救出・その他	2024・3・16	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ケースカンファレンス	毎週火曜	40回		児童発達支援管理責任	3名	

				者・児童指導員、保育士		
クラス会議	毎週火曜	40回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士	3名	
個別支援作成会議	年2回(前期・後期)	2回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士	3名	
管理者・児発管会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回第1木曜日	12回		児童発達支援管理責任者・児童指導員、保育士	3名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・ 小学4年生～高校3年生までの年齢幅の大きいクラスのため、それぞれの子の発達にあった活動への参加の仕方を意識した。
- ・ 子ども同士で手を繋いで歩くことができる子が増えてきており、バディを意識できるようになってきた。
- ・ 排尿、排泄、身支度など、ADLの向上に向けて毎日の練習を行った。
- ・ フロント、スキル練習を行うことで日々の予防と社会スキルの獲得を行った。
- ・ ショートステイと連携し、子どもや家庭の困り感に対応して支援を行った。

〔展望〕

- ・ 個別の学習の時間、学びの時間を重度の子ども向けに展開していく。
- ・ 引き続き、排尿、身支度、食事などの身の回りの自立に向けての練習と支援を行っていく

ライラック（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	14	14	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置													
石狩市													
計	15	15	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	215	222	238	212	202	210	226	205	219	191	200	200	2540

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常 勤	1											
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1											
管理者兼児童 発達支援管理 責任者	常 勤		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
その他従業者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		8	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回（4月・10月）個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、公園活動（野球、サッカーなど）、帰りの会
- ・設定活動（大縄跳び、ドッジボール、鬼ごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）
- ・クッキング

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	平成27年12月26日
----	------	----	-------	---------	-------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・22	避難・消火・通報 救出・その他	2023・10・21	避難・消火・通報 救出・その他
2023・5・20	避難・消火・通報 救出・その他	2023・11・18	避難・消火・通報 救出・その他
2023・6・17	避難・消火・通報 救出・その他	2023・12・16	避難・消火・通報 救出・その他
2023・7・22	避難・消火・通報 救出・その他	2024・1・20	避難・消火・通報 救出・その他
2023・8・19	避難・消火・通報 救出・その他	2024・2・17	避難・消火・通報 救出・その他
2023・9・16	避難・消火・通報 救出・その他	2024・3・17	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週木曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・指導員・保育士	4名	
ケースカンファレンス	毎週木曜日	50回		児発管・児童指導員・指導員・保育士	4名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員・指導員・保育士	4名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児発管	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・指導員・保育士	4名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	無し	

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・登園から活動までの、フロント、宿題、室内遊びの流れを決め、構造化したことで、子どもたちがいま何ができて何ができないのか、見通しをもって自立して行動することができた。
- ・ミーティングでの音楽を継続することで、季節にあった歌など、子ども達が意欲的に歌うことが出来ていた。また、音楽を楽しみ、集中して聴くこともできていた。
- ・女子会や男子会を行い、子ども達の話のできる環境を設定し、大人が作った枠組みのなかで、子どもたちが自発的に気持ちを話し、意見を出すことが出来た。また、「きょうだいがいる」という共通項で小グループを作り、話し合いが活発に行われた。きょうだいの中には重度の障害を持った子どももおり、普段話す機会がないことも話すことができた。
- ・学びの時間を後期は定期的に行う事ができ、普段とは異なる子ども達の姿が見られた。
- ・冬休みスキー教室を開催し、個別対応、小グループでの対応など、柔軟に子どもに合った支援を行うことで、スキーが苦手と言っていた子どもも、とても楽しむことができ、自信を持って学校のスキー授業にも参加することが出来ていた。

〔展望〕

- ・上司とのセットアップ、フィードバックをより円滑に行い、GSVなどからチームで共有しながら、さらにどうしたらよいかを常に良い環境、関わりを試行錯誤し、クラスを運営していく。
- ・不登校の子どもへの支援として、人権意識をもって、弱い立場の方への権利擁護を行っていく。
- ・保護者に対して、グループカウセリング、CSPへの参加を促し、社会スキルが身に着くように家庭と事業所で連携を取り、共通した関わりに繋げていく。
- ・構造化を考え、静かに安全な環境づくりを継続していく必要がある。

ルーミー（ライラック第4，5単位）（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
北区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													

手稲区													
措置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
石狩市													
計	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	241	214	262	208	193	242	235	206	259	235	217	225	2737

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
機能訓練指導 員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習(宿題・学びの時間)、スキル練習、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動(大縄跳び、ドッジボール、鬼ごっこ等)
- ・制作、室内活動(ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等)
- ・クッキング

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	平成 27 年 12 月 26 日
----	------	----	-------	---------	-------------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・22	避難・消火・通報 救出・その他	2023・10・21	避難・消火・通報 救出・その他
2023・5・20	避難・消火・通報 救出・その他	2023・11・18	避難・消火・通報 救出・その他
2023・6・17	避難・消火・通報 救出・その他	2023・12・16	避難・消火・通報 救出・その他
2023・7・22	避難・消火・通報 救出・その他	2024・1・20	避難・消火・通報 救出・その他
2023・8・19	避難・消火・通報 救出・その他	2024・2・17	避難・消火・通報 救出・その他
2023・9・16	避難・消火・通報 救出・その他	2024・3・17	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週木曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・指導員・機能訓練指導員	4名	
ケースカンファレンス	毎週木曜日	50回		児発管・児童指導員・指導員・機能訓練指導員	4名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員・指導員・機能訓練指導員	4名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児発管	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・指導員・機能訓練指導員	4名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	無し	

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・ミーティングでの歌を継続することで季節ごと子ども達が意欲的に歌うことが出来ていた。
- ・女子会や男子会を行い、子ども達の話ができる場を作ることが出来た。
- ・学びの時間を後期は定期的に行う事ができ、普段とは異なる子ども達の姿が見られた。
- ・兄弟の会も行う事ができ、重度の障害のある兄弟児がいる家庭の子が本音を話すことが出来ていた。
- ・冬休みスキー教室を開催し、子ども達も自信を持って学校の授業にも参加することが出来た。

〔展望〕

- ・GSV などからアドバイスをもらい、さらにどうしたらよいかを常に考え良い環境、関わりを考えていく。
- ・保護者に対して、グループカウセリング、CSP への参加を促し、社会スキルが身に着くように家庭と事業所で連携を取り、共通した関わりに繋げていく。
- ・構造化を考え、静かに安全な環境づくりを継続していく必要がある。

スプリング（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
北区	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1.3
計	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	17	17	17.3

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	234	239	266	239	216	235	225	227	205	193	187	214	2,680

8. 評価と展望

〔評価〕

・2年生になり、勉強も難しくなり、宿題の量も多く、疲れている様子の子が増えたが、肯定的に関わり、励ましたり、一人一人に合わせての宿題の支援も行った。フロント、学習、ミーティングの流れに沿って動くことが出来るようになった。

・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。又、友達の問題も自分の事として全体で考えたり、グループで考えたり、2人1組で考えたりが出来た。

・学びの時間も、性教育や算数、国語など、楽しく一緒に考えることを意図的に計画して行った。

・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来、必要な支援に繋げることが出来た。

・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。

・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。

・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。

・構造化をしっかりと行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。

・事業所内相談支援面接を行ったり、こまめに連絡を取り合うなどし、家庭の様子を把握して、必要な支援や制度の利用等を引き続き行う。

・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。

・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

シンフォニー（スプリング第3・4単位）（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
手稲区													
措置													
計	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	212	234	233	209	211	227	238	205	238	218	194	196	2615

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
児童発達支援管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

児童指導員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤							1	1	1	1	1	1
合計		5	5	5	5	5	5	6	5	6	6	6	6

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回（4月・10月）個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習（宿題・学びの時間）、スキル練習、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動（大縄跳び、ドッジボール、風船バレー、音楽遊び、鬼ごっこ等）
- ・制作、室内活動（ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等）

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	クリスマス会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2022・4・21	避難・消火・通報 救出・その他	2022・10・20	避難・消火・通報 救出・その他
2022・5・19	避難・消火・通報 救出・その他	2022・11・17	避難・消火・通報 救出・その他
2022・6・16	避難・消火・通報 救出・その他	2022・12・15	避難・消火・通報 救出・その他
2022・7・21	避難・消火・通報 救出・その他	2023・1・19	避難・消火・通報 救出・その他
2022・8・18	避難・消火・通報 救出・その他	2023・2・16	避難・消火・通報 救出・その他
2022・9・15	避難・消火・通報 救出・その他	2023・3・15	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数	参加職種	参加	参考事項
-----	-------	------	------	----	------

		定例	臨時		人数	
クラス会議	毎週金曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・保育士	4名	
ケースカンファレンス	毎週金曜日	50回		児発管・児童指導員・保育士	4名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員・保育士	4名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・保育士	4名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・1年生になり、学校の行き帰りの支援、学校での支援が増えた。疲れて帰ってくる日が増えたが、フロント、学習、ミーティングの流れに沿って動くことが出来るようになった。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉で表現できるようになり、大人が気持ちを聞いて解決できる事が増えた。
- ・学びの時間では、性教育や言葉の使い方など生活に即した学習を取り入れる事で、子どもたちの気付きをきっかけに理解を深めていくことが出来た。
- ・事業所内相談支援面接を行い、保護者から困り感なども聞くことが出来たり、ヘルプに駆けつけるなどの支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、感染予防対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食を提供し、事業所を開所することが出来た。

〔展望〕

- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化を行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行い、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように職員間でチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

ヨシア（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19	19
北区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
手稲区													
措置													

計	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	247	249	280	248	234	250	259	196	219	190	192	196	2760

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
児童発達支援 管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
心理士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回(4月・10月)個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・ミーティング、学習(宿題・学びの時間)、スキル練習、公園遊び、帰りの会
- ・設定活動(フルーツバスケット、大縄跳び、ドッジボール、風船パレー、音楽遊び、鬼ごっこ、クッキング等)
- ・制作、室内活動(ぬり絵、折り紙、制作、工作、スライム、プラ板、カードゲーム、ボードゲーム、ブロック遊び等)

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、避難訓練
11月	避難訓練
12月	クリスマス会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	古家 健司	選任届出年月日	2019年4月1日
----	------	----	-------	---------	-----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2022・4・21	避難・消火・通報 救出・その他	2022・10・20	避難・消火・通報 救出・その他
2022・5・19	避難・消火・通報 救出・その他	2022・11・17	避難・消火・通報 救出・その他
2022・6・16	避難・消火・通報 救出・その他	2022・12・15	避難・消火・通報 救出・その他
2022・7・21	避難・消火・通報 救出・その他	2023・1・19	避難・消火・通報 救出・その他
2022・8・18	避難・消火・通報 救出・その他	2023・2・16	避難・消火・通報 救出・その他
2022・9・15	避難・消火・通報 救出・その他	2023・3・15	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週月曜日	50回	0回	児発管・児童指導員・心理士・音楽療法士	4名	
ケースカンファレンス	毎週月曜日	50回		児発管・指導指導員音楽療法士	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管・児童指導員・音楽療法士	1名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・心理士・音楽療法士	4名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・4年生になり、学校の6時間授業が増えて帰ってくる日が増えたが、職員の促しが無くても、フロント、学習、ミーティングの流れに沿って動くことが出来るようになった。
- ・夏休みには、中小屋小学校での活動を行った。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・学びの時間もは、楽しい時間となるように工夫を積み重ねた。マインドフルネスや行事の後はストレッチでリラクゼーションを目的とするなど。
- ・素直に自己表現できない女子も、女子会を通して後半は元気になり、表情も良くなった。
- ・室内活動の中で、ドッジボールを楽しみ、チームで協力したりルールを理解して守ることが出来るようになった。
- ・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来たり、ヘルプに駆けつけるなどの支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・子ども一人一人の気持ちに寄り添った支援を引き続き行う。
- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化をしっかり行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行い、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。

シーランチ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	14	14	14	13	13	13	13	13	14	14	14	14	13.58
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区				1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.75
措置	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	4.33
計	19	19	19	19	19	19	19	19	20	20	20	20	19

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	214	214	229	212	188	203	195	203	236	236	215	213	2558

8. 評価と展望

[評価]

- ・職員が活動内容を調整することで、ゾーンで分かれながら活動するお事が出来た。
- ・構造化を行い、フロントから活動までの流れを子ども達がわかりやすいように工夫することが出来た。
- ・学びの時間で、子ども達が楽しく学べるように英語を取り入れたり、週1回の性教育を行うことが出来た。
- ・予防的教育法を行うことで適応行動が増え、その行動を効果的に褒める場面が多かった。
- ・事業所内相談支援を計画的に行い、お母さんたちと面談し、子どもの成長している姿の共有や、家庭で困っていることの相談などの話し合いをすることが出来た。
- ・運営面では、期日までに書類を作成することが出来た。

[展望]

- ・子ども一人一人の特徴を職員で共有しながら、気持ちに寄り添って支援していくことを引き続き行っていく。
- ・同学年のクラス同士でも連携して、子どもを支えていく。
- ・家族支援では、事業所内面談を定期的に行い、保護者の困り感や育児不安に寄り添いながら、子どもの様子を共有し、協力して子どもの成長を支えていく。
- ・運営面では、書類作成を日々行い、確認を正確にこまめに行っていく。

スカイプルー（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	13	13	22	22	22	27	27	27	27	28	28	
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	2.33
措置	2	2	2	4	6	6	7	7	7	7	8	7	
計	17	17	17	28	30	30	37	36	37	37	39	38	30.8

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	225	201	233	256	238	274	295	285	276	272	249	260	3064

8. 評価と展望

[評価]

学校の行き帰りの支援、学校での支援が増えた。疲れて帰ってくる日が増えたが、フロント、学習、ミーティングの

流れに沿って動くことが出来るようになった。

- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり、子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・学びの時間も、性教育や算数、国語の文章題など、一緒に考えて共有することが出来た。子どもたちも、楽しんで参加することが出来た。
- ・事業所内相談支援面接を行い、お父さん、お母さんたちから困り感なども聞くことが出来たり、ヘルプに駆けつけるなどの支援を行った。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化をしっかり行い、子どもたちがわかりやすく活動できるように考える。
- ・事業所内相談支援面接を行ったり、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

ハイジ（スカイブルー第2・3単位）（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	18	16	16	21	21	24	22	22	21	22	20	23	20.5
北区	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	0	1	0.8
措置	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0.7
計	20	18	18	23	22	26	24	24	23	23	20	24	22

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	247	210	270	263	218	244	266	233	231	236	206	237	2,856

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・受け入れのフロントから宿題までの流れを構造化し職員で役割分担、声掛けを明確にしたことで、子どもたちが落ち着いて活動出来るようになった。
- ・社会スキルの練習を活動の合間に行い、適応行動が増えた。
- ・不登校の子ども達への支援として、不登校支援、学校支援や学校への付き添いなどを行った。子ども達の気持ちに寄り添い、自尊心がさがらないようクラスでも達成感を得られるように学習、学びの時間、外活動などで配慮をした。
- ・事業所内相談支援や電話連絡を通して保護者と話し合い、支援を行う事が出来た。
- ・子どもたちが自分の気持ちを言葉に出して表現できるようになったり子ども同士の衝突があっても、大人が気持ちを聞いて解決できることが増えた。
- ・こまめな換気、消毒を行い、新型コロナウイルス感染症対策を行った。
- ・学校休業日にも対応し、給食などを用意し、事業所を開所することが出来た。
- ・書類整備なども、期日内にそろえることが出来た。

〔展望〕

- ・同学年のクラスと横のつながりを大事にし、協力して療育を行っていく。
- ・構造化の見直しと維持を行い、子どもたちにとってわかりやすく前向きに社会スキルを習得していけるようにしていく。
- ・事業所内相談支援面接を行い、こまめに連絡を取り合うなど、保護者と子どもの発達について共通理解が出来るよう努める。
- ・書類整備も日々、計画的に行って不備のないように、みんなでチェックし、揃える。
- ・手洗い、消毒、検温などの感染対策に努める。

トゥモロー（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	10	10	10	18	18	18	18	19	19	19	19	19	16.4
北区	2	2	2	2	4	2	2	2	2	2	2	2	2.1
西区				1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.7
中央区												1	0.08
手稲区				2	3	3	3	3	4	4	4	4	2.5
措置	2	2	2	2	4	4	2	2	2	1	1	1	2.08
計	14	14	14	25	30	28	26	27	28	27	27	28	288

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	236	249	275	299	262	287	262	240	253	239	197	234	3033

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・職員が大幅に入れ替わった新年度当初は、新一年生が加わったこともあり支援が困難な状況もあった。親子発達支援をきっかけに、理事長やマネージャーの先生からのアドバイスで関わり方や構造化を見直し、クラスが随分とまとまった。
- ・制作をやる回数が少なかった。
- ・キャンプや八剣山、スキーなど、コロナで中止になっていた行事を行うことが出来た。

〔展望〕

- ・引き続き、クラスの良い雰囲気を維持していきたい。
- ・個別での面談やグループカウンセリングを引き続き積極的に行ってい、家庭での困り感を素早くキャッチして、必要なサービスや支援に繋げていく。
- ・クッキングや制作を定期的に行う。
- ・フリースクールの活動、保護者が協力し合える関係を応援していく。

野の花（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	23	23	22	16	16	16	16	17	17	17	17	17	18.3
北区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
手稲区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	31	31	30	24	24	24	24	25	25	25	25	25	26.0

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	247	249	274	249	230	250	248	229	239	237	197	209	2,858

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・スペシャルニーズの子どもには個別に対応していき、家族支援会議や学校などの連携会議、上田先生の受診等を行った。

- ・ショートステイ等と連携して、家族への支援に繋げることができた。
- ・スキル練習は指示に従う、助けを求める事を中心に行った。指示に従うスキル練習は繰り返し全体と個別に行った。トークを中心に子どもたちの困り感に、やり取りしながら関わっていったことで、少しずつ関係性を構築することができていった。指示に従うことが難しい子どもも改善がみられ、話を聞く、活動に参加すること等が出来るようになっていった。また、助けを求める練習を行った事で、本人の困り感を言葉にして発信することができるようになっていった。
- ・クラス内でいじめが起こらないようにグループSV等、縦横での職員間で話し合い、クラスでも子どもたちに教え伝え話し合っていた。
- ・学校の要請があったケースでは他機関と連携会議を持ち、情報を共有できた。
- ・職員間で引き継ぎが上手くいくように、セットアップ、フィードバックを行っていき、部下にも行うようにクラス会議等で話し合っていた。

〔展望〕

- ・デイサービスだけの様子だけではなく、家庭内や学校での様子、また、その子達の生い立ちも把握する事で利用者を深く理解して支援を行う。また、お母さんや保護者の方とこまめに面談を行っていく。
- ・子どもたちと、関わる時間を増やし、活動や支援に意味づけを行って、大人との関係性を構築していく。子どもたちと良い関係性を作り、支援に繋げていく。
- ・一つのツールとして CSP を用いて、一貫性のある支援を行う。大人も子どもも社会スキルを身に着ける事が出来るように繰り返し練習を行う。
- ・相談室やショート、クリニック等と連携して、縦横のチームで支援する。
- ・ミッション、バリューをチームで理解して実行し、家族支援を行う。

ブラックベリー（野の花第3単位）（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	29	29	29	29	29	29	30	30	30	30	30	30	29.5
北区	6	6	6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5.5
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区													
措置	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
計	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43	43

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	227	234	271	228	233	254	273	232	243	209	245	181	2830

2. 職員配置状況

(人)

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

指導員	非常勤	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5
合計		10	11	10	11	11	11	11	11	11	11	11	11

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・個別支援計画は年2回（3月、9月）に作成した。
- ・アセスメントシートを元に面接をして、保護者に子どもへの願いや困り感、事業所への要望を聞き取りした。
- ・個別支援計画を保護者に説明をした後、同意を得た。
- ・半年間モニタリングを行い、評価を行った。

(2) 主な活動

- ・ミーティング、スキル練習、学習活動
- ・集団活動（性教育、社会スキルや生活スキルの学び）、個別活動

(3) 余暇活動支援(行事・芸出鑑賞等)

4月	入学式、カーペンター、避難訓練
5月	避難訓練
6月	定期テスト集中日、避難訓練
7月	避難訓練
8月	芸術鑑賞（芸術の森見学）、避難訓練
9月	学童運動会、避難訓練
10月	ハロウィン、中小屋カーペンター、定期テスト勉強集中日、避難訓練
11月	避難訓練
12月	学童発表会、クリスマス会、避難訓練
1月	避難訓練
2月	豆まき、定期テスト集中日、避難訓練
3月	卒業式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

・

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	児童発達支援管理責任者	氏名	北上丈生	選任届出年月日	H27.12.26
----	-------------	----	------	---------	-----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	2023・10・20	避難・消火・通報・救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	2023・11・17	避難・消火・通報・救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	2023・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	2023・2・16	避難・消火・通報・救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	2023・3・15	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・児童発達支援管	5名	

				理責任者・児童指導員・指導員		
クラス会議	毎週水曜	44回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・指導員	5名	
ケースカンファレンス会議	毎週水曜	44回		児童発達支援管理責任者・児童指導員・指導員	5名	
個別支援計画作成会議	前期・後期	2回		児童発達支援管理責任者・指導員	5名	
児発管会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・クラスで、基礎学習力がつくような授業を行い、子どもに合わせた学習資料やプリント作成をすることができた。
- ・学年ミーティングの話し合いを通して、子ども達同士の絆が深まるように、一年間取り組むことが出来た。
- ・CSPの予防教育をして、適応行動を効果的に褒めて、中高生に必要な社会スキルや生活スキルを身に着けるように取り組んだ。また、パワーポイントを用いて、目で見分けるように公共のルールや人間関係のマナーをわかりやすく学べるように配慮した。
- ・高校生は、ミーティングで仲間同士の話し合いをし、個別で気持ちを聞くことを大切にし、その中で自立に向けた意識を育てるように支援した。

〔展望〕

- ・学年ミーティングや集団活動を通して、仲間との連帯感を育んでいく。また、芸術鑑賞で文化を学び豊かな感性が育つように支援していく。
- ・生活スキル、社会スキルを身に着けて、自立ができるように、CSPのスキル練習やミーティングを行う。

グリーン（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
東区	22	22	22	22	22	22	23	23	23	23	24	24	22.7
北区	5	5	5	5	7	7	7	7	7	7	7	7	6.3
他市	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3.0
措置	5	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7	5.7
計	35	35	35	35	37	37	38	39	39	40	41	41	37.7

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	210	208	275	270	242	274	298	260	268	268	268	261	3102

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・遺愛学園の研修から、心を大切にされた学校があることをしり、事業所でも取り入れた。気持ちを大切にされた、明るい、安心感のある雰囲気が出てきた。
- ・子どものグループカウンセリングでは、自分の気持ちを話す練習をし、気持ちを話すことに慣れ過ごせるようになってきた。
- ・職員に助けを求める事で、友人関係や悩みごとの解決につながる練習ができた。

〔展望〕

- ・今年度の日課をもとに、音楽活動や美術、清掃活動などを入れる。
- ・グループカウンセリングをもとに、自分の気持ちを話す練習と話す機会を作る。
- ・英語検定など目標をもった学習する。

チェリーブLOSSAM（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
北区	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	26.5
西区													
南区													
白石区													
豊平区													
中央区													
手稲区				1	1	1	1	1	1	1	1	1	0.75
措置		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
計	26	29	29	30	30	30	31	31	31	31	31	31	30.25

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	210	208	260	248	237	251	265	236	263	237	231	235	2881

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者兼児童 発達支援管理 責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・年2回（4月・10月）個別支援計画を作成した。
- ・8月・2月にモニタリングを行った。
- ・個別支援計画に基づいて、療育や保護者支援を行った。

(2) 主な日中活動

- ・国、数、英を中心とした個々に合わせた学習
- ・散歩、スポーツ活動などの戸外活動
- ・美術、工作などの制作活動
- ・スイーツなどのクッキング
- ・歌や楽器などの音楽活動

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、1期始業式、カーペンター、避難訓練
5月	父親参観週間、避難訓練
6月	避難訓練
7月	1期終業式、夏休み活動、避難訓練
8月	2期始業式、夏休み活動、避難訓練
9月	学童運動会、避難訓練
10月	避難訓練
11月	避難訓練
12月	学童学習発表会、2期終業式、冬休み活動、避難訓練
1月	3期始業式、冬休み活動、お正月会、避難訓練
2月	避難訓練、豆まき、父親参観週間
3月	卒業式、修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・消防設備点検を年2回行い、7月の結果報告を消防署に届けた。
- ・毎日、警備日誌をつけ、毎月、自主点検を行った。

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	管理課長	氏名	北上 丈生	選任届出年月日	2015年12月26日
----	------	----	-------	---------	-------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報 救出・その他	2023・10・20	避難・消火・通報 救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報 救出・その他	2023・11・17	避難・消火・通報 救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報 救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報 救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報 救出・その他	2024・1・19	避難・消火・通報 救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報 救出・その他	2024・2・16	避難・消火・通報 救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報 救出・その他	2024・3・15	避難・消火・通報 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
クラス会議	毎週金曜日	52回		児発管・児童指導員・指導員	3名	
ケースカンファレンス	毎週金曜日	52回		児発管・児童指導員、指導員	3名	
個別支援計画会議	年2回	2回		児発管	1名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児発管	1名	
職員会議	月1回	12回		児発管・児童指導員・指導員	3名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

1. 中高生の事業所として療育を行った。利用者は昨年度から引き続いての利用者と新中1年生で新たに契約した子がいた。新しい環境に慣れるようにケースカンファレンスを行い、個別で対応するなど配慮を行った。またお話

- し会や個別で話しを聞く時間を設け職員のと関係構築を図り、気持ちを話しやすい環境作りに努めた。学習の支援では一人一人に適したプリントを用意して毎日繰り返す事で達成感や自信に繋がれるように支援を行った。
- ・人間関係や人との距離間など職員が間に入り話しを聞き、良好な人間関係が築けるように練習を行っていった。
 - ・学びの時間では、性教育やネットリテラシーやSDGsなど中高生に適した学びを行った。
 - ・CSPで社会スキルを身に付けられるように、フロントやミーティングや活動前にスキル練習を毎日行った。
 - ・事業所内相談支援や必要に応じ家庭訪問を行い、家庭での様子やニーズを聞いて一人一人に合わせた支援を行った。

〔展望〕

- ・家庭内や学校生活の中で不安や悩みを抱えた子どもの気持ちに寄り添い一人一人に丁寧にに関わり、子どもや保護者が安心して生活出来るように支援していく。
- 事業所内相談支援やグループカウンセリングなどで保護者からの悩みやニーズを聞き、それぞれに合った支援を行う。
- ・CSPをベースに、子どもが社会スキルを習得出来るようフロントやミーティングや活動前に繰り返し練習を行う。
 - ・利用者と職員が信頼関係を構築出来るように一人一人に丁寧にに関わり、気持ちに寄り添っていく。
 - ・一人一人の発達に合った学習課題を用いて取り組み、職員が励まし効果的に褒める事で自信や達成感に繋げていく。

放課後等デイサービスみかほ（放課後等デイサービス）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	14	12	12	12	11	11	11	11	11	11	11	11.6
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.08
計	15	15	13	13	13	12	12	12	12	12	12	12	12.8

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	247	249	244	236	203	214	217	202	224	212	216	204	2,668

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童発達支援管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
児童指導員	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
児童指導員	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
機能訓練担当職員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
機能訓練担当職員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・個別支援計画は年2回(3月、9月)の見直しを行い、作成した。
- ・支援計画の作成前に、家庭での様子を把握やアセスメントのために、保護者と30分程度の面談の時間をつくり、共通理解を持って作成をした。
- ・保護者の願いやニーズの把握、育ちの確認、これからのビジョンなどを話し合った。
- ・家庭訪問、面接の記録などで保護者にクラスに対しての意向、要望などの聞き取りを行った。

- ・個別支援計画は、保護者に個別に説明を行って、同意を得た。
- ・半年間モニタリングを行い、評価を行った。

(2) 主な日中活動

- ・朝の学活、散歩(さとらんど、モエレ沼公園、百合が原公園、など)、公園遊び(丘珠公園百合が原公園など)
- ・畑活動(種芋植え、水やり、雑草抜き、収穫)
- ・スポーツ活動(バスケットボール、ソフトバレー、スキーなど)
- ・美術工作(習字、季節の工作など)、音楽遊び(ダイナミックリズム、楽器遊び)、
- ・体操(衝動性の抑制、全身に入った緊張を緩める、葛藤しながら身体を動かす)
- ・個別指導学習など

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入学式、誕生会、中小屋カーペンター、避難訓練
5月	誕生会、避難訓練
6月	誕生会、八剣山遠足、避難訓練
7月	誕生会、避難訓練
8月	I期終業式、II期始業式、誕生会、避難訓練
9月	運動会、誕生会、避難訓練
10月	中小屋カーペンター、誕生会、避難訓練
11月	学習発表会、誕生会、避難訓練
12月	もちつき、クリスマス会、II期終業式、誕生会、避難訓練
1月	III期始業式、お正月会、誕生会、避難訓練
2月	豆まき、誕生会、避難訓練
3月	ひなまつり会、卒業式、誕生会、避難訓練、III期修了式、避難訓練

4. 施設設備管理業務

- ・エレベーター(リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回)
- ・防災設備(法定点検年2回)

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	施設長	氏名	尾北 俊	選任届出年月日	令和 4年9月1日
----	-----	----	------	---------	-----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
5.4.21	避難・消火・通報・救出・その他	5.10.20	避難・消火・通報・救出・その他
5.5.19	避難・消火・通報・救出・その他	5.11.17	避難・消火・通報・救出・その他
5.6.16	避難・消火・通報・救出・その他	5.12.15	避難・消火・通報・救出・その他
5.7.21	避難・消火・通報・救出・その他	6.1.19	避難・消火・通報・救出・その他
5.8.18	避難・消火・通報・救出・その他	6.2.16	避難・消火・通報・救出・その他
5.9.15	避難・消火・通報・救出・その他	6.3.15	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・児童発達支援 管理責任者・児童指導員・保育士・昨日訓練担当職員	4名	
クラス会議	毎週金曜日	40回		管理者・児童発達支援	4名	

				管理責任者・児童指導員・保育士・昨日訓練担当職員		
ケースカンファレンス会議	毎週金曜	40回		管理者・児童発達支援管理責任者・児童指導員・保育士・昨日訓練担当職員	4名	
管理者・児発管会議	月1回	12回		管理者	1名	
児童発達支援管理責任者会議	月1回	12回		児童発達支援管理責任者	1名	
環境整備委員会	月1回	12回		管理者・児童発達支援管理責任者	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

無し

8. 評価と展望

〔評価〕

- 定期的を受けているコンサルテーションから学んだことを、クラスへ反映させている。構造化や指示の出し方など、細部まで子ども達に伝わりやすく、活動がしやすいように、スタッフが此処に考えて工夫をしている。
- 食事介助、排泄介助、各活動に必要な介助について、子ども達それぞれにどこまで必要か、どこまで本人の力で取り組むか、話し合いながら試行錯誤していった。
- クラス会議、グループSV、ケースカンファレンスを通して、クラス全体が共通理解を持って子どもたちやクラスの活動に向かった。クラス全体で共通の対応ができるようにした。
- 曜日ごとにスケジュールを作成し、設定・場の構造化を行うことで、子ども達が毎日落ち着いた生活を送れるようにしていった。
- グループカウンセリングへの参加を積極的に呼びかけ、クラス職員も参加することで、家庭の困り感やニーズを把握し、支援に繋げる事が出来た。
- アレルギー対応を毎日徹底し、全員で事故防止に努めた。

〔展望〕

- クラスとして廃止になり、登録の子どもたちは法人内の別事業所に移動することになった。新しい担任へ子ども達の特徴を伝え、子ども達・保護者が安心して新年度からも活動できるようにする。

IV 成人部門

ジャンプレッツ（生活介護）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	31	31	31	31	31	31	31	31	31	30	30	30	30.8
北区	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	7.8
西区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
手稲区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
清田区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
厚別区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
江別市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	48	48	49	49	49	49	49	49	49	48	48	48	48.6

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計	821	840	922	873	775	844	875	815	827	763	786	843	9984
前年度	884	873	1024	956	897	928	938	932	920	869	809	934	10964

2. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

・2023年度の個別支援計画は2022年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2023年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・作業や活動(畑作業・洗車作業・室内清掃・施設外清掃・除雪作業・ビーズ作業・ペンキ)を5つのグループに分かれて行なった。
- ・スポーツ活動(ソフトボール・歩くスキー・卓球・スケート・ボッチャ、風船バレー等)
- ・レクリエーション(フットケア・ハンドケア等)
- ・サークル活動(英会話、フラダンス)
- ・行事(お花見・日帰りキャンプ・スポーツ大会・クリスマス会など)

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	英会話・フラダンス・入所式・歓迎会
5月	英会話・フラダンス・お花見
6月	英会話・フラダンス
7月	英会話・フラダンス・海水浴
8月	英会話・フラダンス・日帰りキャンプ(中小屋小学校)
9月	英会話・フラダンス
10月	英会話・フラダンス・スポーツ大会
11月	英会話・フラダンス
12月	英会話・フラダンス・クリスマス会
1月	英会話・フラダンス・成人式
2月	英会話・フラダンス・豆まき
3月	英会話・フラダンス・ひな祭り

3. 給食業務

給食提供形態	1日1食 毎日提供 食事時間 11:30~13:00 食事提供に当たって、利用者の心身の状況や嗜好に合わせて食事の提供を行うとともに、年齢、障害の特性に応じた適切な栄養量及び内容の食事提供を行うため上記の栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施。
給食費	650円

4. 医療体制

- ・嘱託医田村ドクター、平尾ドクターによる毎年1~2回の生活習慣予防検診の実施
- ・年2回の健康診断の実施(6月・10月)
- ・看護師・スタッフの連携による健康管理・指導
- ・定時薬・臨時薬の準備と保管・服用管理
- ・栄養士による食事管理

5. 施設設備管理業務

- ・エレベーター(リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回)
- ・防災設備(法定点検年2回)

6. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職	施	氏	尾北	選任届	令和 4年 9月
---	---	---	----	-----	----------

名	設 長	名	俊	出年月 日	1 日
---	--------	---	---	----------	-----

(2)消防計画の状況

当初届出年月日	2002年3月31日	最終変更届出年月日	2022年12月21日
---------	------------	-----------	-------------

(3)消防設備等の点検状況

区分	点検の箇所等			
	総合		外観・機能等	
点検年月日	2023年7月19日	2024年2月9日	年月日	年月日
消防署への報告	有・無	整備点検記録の有無		有・無

(4)所轄消防署の立入検査状況

検査の有無	有・無
立入検査年月日	年月日
改善指示事項の有無	有・無
改善指示事項の内容	
上記の改善内容	

(5)避難場所の状況

第1次避難場所		第2次避難場所	
予定地	みずどり公園	予定地	伏古北小学校
施設からの距離	10M	施設からの距離	200M
予定地までの所要時間	約1分	予定地までの所要時間	10分

(6)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
5.4.21	避難・消火・通報・救出・その他	5.10.20	避難・消火・通報・救出・その他
5.5.19	避難・消火・通報・救出・その他	5.11.17	避難・消火・通報・救出・その他
5.6.16	避難・消火・通報・救出・その他	5.12.15	避難・消火・通報・救出・その他
5.7.21	避難・消火・通報・救出・その他	6.1.19	避難・消火・通報・救出・その他
5.8.18	避難・消火・通報・救出・その他	6.2.16	避難・消火・通報・救出・その他
5.9.15	避難・消火・通報・救出・その他	6.3.15	避難・消火・通報・救出・その他

(7) その他の防災対策

- ・自動通報装置の設置
- ・セコムとの連携・利用者の防災センター体験による防災意識高揚
- ・AEDの設置
- ・警備日誌の励行
- ・3日分の食料、水の備蓄、災害時拠点としての防災・災害対策用品の備蓄
- ・町内会防災訓練参加
- ・災害時指定避難場所への避難（伏古北小へ（年1回））

7. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	8	8	8	8	8	8	8	11	10	10	10	10
生活支援員	非常勤	27	27	27	27	28	28	28	27	27	27	26	26
看護師	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
看護師	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栄養士	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
調理員	非常勤	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		44	44	44	45	45	45	45	45	45	47	46	46

※サービス特性によって「児童発達管理責任者」「サービス提供責任者」と書き換える。

8. 実習生・介護等体験の受入 ※実際に事業所で受け入れた記録を入力

受入学校名		実習期間	人数
実習生	北海道星置養護学校ほしみ高等学園		1人

9. 職員研修 ※実際に事業所職員が参加した研修等(研修報告のあるもの)を記入してください

(1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/1		法人研修	全職員

(2) 施設外研修・行政説明会への参加

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
6/29.30	北海道知的障がい福祉協会	全道施設長研修セミナー	1人
7/13-14	日本知的障がい福祉協会	全国知的障害関係施設長等会議	1人
7/21	北海道知的障がい福祉協会	北海道知的障がい関係支援員研修会	2人
8/29	北海道安全運転管理者協会	安全運転管理者講座	1人
9/1-3/31	日本知的障がい福祉協会	福祉施設長専門講座	1人
9/21	特定非営利活動法人きなはれ	サービス管理責任者更新研修	1人
9/11-10/27	北海道社会福祉協議会	苦情・クレーム対応セミナー	1人
9/28	北海道知的障がい福祉協会	災害対策研修会	1人
10/13	北海道知的障がい福祉協会	全道知的障がい関係職員研究大会	1人
12/21	特定非営利活動法人きなはれ	サービス管理責任者基礎研修	1人
11/26-12/2		アジア知的障害会議	1人
11/29-30・12/13-14	社会福祉法人 はるにれの里	行動援護従事者養成研修	2人
12/12	北海道知的障がい福祉協会	幹部職員研修	1人
12/27		日本財団打合せ、こども家庭庁訪問	1人
2/19.20	北海道知的障がい福祉協会	全道施設長研修会	1人
2/28.29.3/13.14	社会福祉法人 はるにれの里	行動援護従事者養成研修	1人
3/8-10	全国家庭養護推進ネットワーク	FLEC フォーラム	1人
3/8-28	特定非営利活動法人きなはれ	相談支援従事者研修	1人

10. 諸会議の開催※会議録必須

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月火曜日	24回		管理者・サビ管・生活支援員・看護師	17名	
各種委員会	毎月第4水曜日	12回		委員会担当職員	17名	
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員		
各部会議	毎月第2水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員		
マネージャー会議	毎月第2.4水曜日	29回		マネージャー	2名	
リーダー会議	月1回	12回		マネージャー・リーダー	3名	

11. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

12. 評価と展望

〔評価〕

- ・利用者支援では、全職員がコモンセンスペアレンティングを中心に、場面で各教育法を実践ができるよう支援を心掛けた。また、CSPが共通言語になるよう、どの職員でも同じように専門的な関わりができるように利用者さんとの関係構築を率先し行った。
- ・強度行動障害、愛着障害の対応が難しいなどの対応が難しい利用者には、片倉厚子先生や米澤先生のコンサルテーションに参加し、工夫支援方法・工夫の仕方を学んだ。生活のスキルとして箸の持ち方、食べ方などが向上できるように支援した。
- ・各5グループに合わせた、畑作業や清掃作業、生産活動、余暇活動を行った。内職作業は新しい食品の封入作業を取り入れて行った。また、天候の良い日には戸外活動を組むことでリフレッシュすることができるよう配慮しました。
- ・内職の箱折りは全利用者が行い、工賃をもらうことができるように支援した。スープカレーやイモ餅、ハンバーグなどの封入作業を小グループで行っている。また、ポストイン作業も全利用者が行うことができるように配慮した。
- ・職員のグループSVや個別SVを行うことで、職員の良かった、難しかったことを理解し、改善点のアドバイスを示し、利用者さんへの前向きな支援を行うことができた。週に一度、支援員会議を開き、支援について各グループからの報告、相談を全員で解決ができるように話を行った。

〔展望〕

- ・各グループでの活動に対して、さらに構造化し、利用者がわかりやすく見通しをもって活動や作業に取り組むことができるような配慮が必要になる。構造化した環境を職員が整えて行っていく。
- ・内職作業をする場所の提供や、新しい作業を探して行っていく。
- ・家族支援として、来年度は家族会CSPを開催し、家族の悩みを聞くなどのコミュニケーションを図っていく。また孤立しやすい保護者との電話での連絡を定期的に行っていく。
- ・コロナ過でできなかった行事を行い、見通しを持ち、楽しみをもって通所ができるように支援していく。
- ・マスクや手洗いを全員が出来るように徹底した支援を行っていく。コロナが5類になってからは状況に応じて対応を変えていく。

ジャンプレッツ（就労移行支援事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	13	12	12	11	11	12	11	11	11	11	10	10	11.3
北区													0
豊平区													0
計	13	12	12	11	11	12	11	11	11	11	10	10	11.3
前年度	17	17	17	17	15	14	12	13	13	13	13	13	16

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	155	133	164	150	137	152	152	137	133	125	121	145	1704
前年度	182	160	195	179	160	160	164	164	167	169	163	177	2040

2. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

・2023年度の個別支援計画は中間評価で利用者本人と面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者や保護者に作成した個別支援計画を説明し、同意を得る。(概ね3ヶ月ごとに同様に個別支援計画の見直しを行った。)

(2) 主な日中活動

・調理室での作業：食器の準備、調理業務(食材の切り作業、味付け、炒め作業等)、食事の配達業務、食器洗浄、調理室清掃作業等、ジャンプレッツ内清掃
 ・麦の子発達クリニックの清掃

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入所式
5月	
6月	
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	クリスマス会
1月	成人式
2月	
3月	

3. 給食業務

給食提供形態	1日1食 毎日提供 食事時間 11:30~13:00 食事提供に当たって、利用者の心身の状況や嗜好に合わせて食事の提供を行うとともに、年齢、障害の特性に応じた適切な栄養量及び内容の食事提供を行うため栄養士を配置し、必要な栄養管理を実施。
給食費	650円

4. 健康管理業務

(1) 医療体制

・嘱託医田村ドクター、平尾ドクターによる毎月1~2回の生活習慣予防検診の実施

(2) 健康管理

・年2回の健康診断の実施(6月・10月)

- ・看護師・スタッフの連携による健康管理・指導
- ・定時薬・臨時薬の準備と保管・服用管理
- ・栄養士による食事管理

5. 施設設備管理業務

- ・エレベーター（リモート点検毎月・技術員点検4回・法定検査年1回）
- ・防災設備（法定点検年2回）

6. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	施設長	氏名	尾北 俊	選任届出年月日	令和 4年9月1日
----	-----	----	------	---------	-----------

(2)消防計画の状況

当初届出年月日	2002年3月31日	最終変更届出年月日	2022年12月21日
---------	------------	-----------	-------------

(3)消防設備等の点検状況

区分	点検の箇所等			
	総合		外観・機能等	
点検年月日	2023年7月19日	2024年2月9日	年 月 日	年 月 日
消防署への報告	有 ・ 無		整備点検記録の有無	
	有		有	

(4)所轄消防署の立入検査状況

検査の有無	有 ・ 無
立入検査年月日	年 月 日
改善指示事項の有無	有 ・ 無
改善指示事項の内容	
上記の改善内容	

(5)避難場所の状況

第1次避難場所		第2次避難場所	
予定地	みずどり公園	予定地	伏古北小学校
施設からの距離	10M	施設からの距離	200M
予定地までの所要時間	約1分	予定地までの所要時間	10分

(6)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
5.4.21	避難・消火・通報・救出・その他	5.10.20	避難・消火・通報・救出・その他
5.5.19	避難・消火・通報・救出・その他	5.11.17	避難・消火・通報・救出・その他
5.6.16	避難・消火・通報・救出・その他	5.12.15	避難・消火・通報・救出・その他
5.7.21	避難・消火・通報・救出・その他	6. 1.19	避難・消火・通報・救出・その他
5.8.18	避難・消火・通報・救出・その他	6. 2.16	避難・消火・通報・救出・その他
5.9.15	避難・消火・通報・救出・その他	6.3.15	避難・消火・通報・救出・その他

7. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
職業指導員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
就労支援員	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栄養士	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1

合計		7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	8	8
----	--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

9. 職員研修

(1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/1	社会福祉法人麦の子会	法人研修	5名

10. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考
		定例	臨時			
支援員会議	毎週 火曜	24回		管理者・サビ管・支援員	3名	
ケース会議	毎月第4水曜	12回		管理者・サビ管・支援員	3名	
各種委員会	各委員会規定日	12回		委員会担当職員	3名	
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者・サビ管・支援員	3名	
各部会議	毎月第2水曜日	11回		管理者・サビ管・支援員	3名	

11. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

12. 評価と展望

2023年度は、一般就労に結び付いた利用者は3名いた。ハローワークなどに行くなど情報を提供して今後も一般就労に繋ぐことができるように支援を継続していく。利用率についても定員を割れることなく一年間進めることができた。支援についてはCSPをベースに教育法を用いて、利用者の達成感や充実感を高め、自己肯定感をもって過ごすことができていました。また、SSTの練習であいさつなどの基礎スキルの獲得や、適切なコミュニケーションをとることができるように支援を行った。また、一人ひとり利用者さんに合わせた作業内容を考え、下処理作業、切り作業、皿洗いなど分担して行うことができた。

展望として、就労につながるような支援をしていきたい。挨拶や目を見ての会話などの生活面のスキルの獲得や、コミュニケーション能力を高めることができるよう支援していきたい。

また、給食づくりや配達以外にも、内職や箱折り、ポスティングなど生活介護の利用者と一緒に作業を行い、様々なスキルを身に付け、自信につなげていきたいと感じている。

働く環境づくりもSVやグループSVを通じて風通しの良い職場になるように常に工夫をし、安心して通所ができるように今後も支援を続けていく。

ハーベストガーデン（生活介護事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34
北区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
措置	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2
計	36	36	36	36	36	36	37	37	37	37	37	37	36.0

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	758	771	821	797	691	773	809	758	778	728	729	730	9143

2. 職員配置状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月

								月	月	月			
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
生活支援員	非常勤	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11	11
看護師	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
栄養士	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・2023年度の個別支援計画は2022年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2023年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・スポーツ（歩くスキー・ソフトボール・スケート他）/勉強/ウォーキング/ショッピング
町内清掃/ガーデニング/畑作業/フラダンス/洗車作業/ドライブ/
ボイストレーニング/フラワーアレンジメント/三角山登山/ボスティング/箱折作業

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入所式・歓迎会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
5月	花見・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール
6月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール
7月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール
8月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール
9月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール・中小屋1日活動
10月	スポーツ大会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール
11月	フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント・プール
12月	クリスマス会・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
1月	成人式・歩くスキー・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
2月	豆まき・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント
3月	ひな祭り・フラダンス・ボイストレーニング・フラワーアレンジメント

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備（法廷点検2回）

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	管理者	氏名	古家 健司	選任届出年月日	平成24年7月12日
----	-----	----	-------	---------	------------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	2023・10・10	避難・消火・通報・救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	2023・11・17	避難・消火・通報・救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	2024・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	2024・2・16	避難・消火・通報・救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	2024・3・15	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月第1.3水曜日	24回		管理者・サビ管・生活支援員・看護師	11名	支援員会議
各種委員会	毎月第4水曜日	12回		委員会担当職員	11名	各種委員会
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員	11名	職員会議
各部会議	毎月第2水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員	11名	各部会議
マネージャー会議	随時	24回		マネージャー	3名	マネージャー会議

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・新スワンビルを活動場所として2年目を迎えた。昨年度に続き、従たる事業所では仕事を中心にした作業を行っている。
- ・活動への移動時、ハーベスト出発時、目的地到着時、目的地出発時に人数確認を徹底した。
- ・片倉厚子先生のコンサルティングを受けることで、再アセスメントを行い、職員一人一人が関わり方を見直した。そして、同じ方向で支援をすることで本人の動きも良くなってきている。
- ・毎週のGSVやケース会議などで関わり方を振り返ることができた。支援の方向性を統一させることができたと考える。
- ・工賃を得るための作業（チラシ配布、ふりっばー配布）など多くの利用者に参加してもらっている。
- ・CSPを活用し、特に活動前の予防や効果的なほめ方を実践している。
- ・年度末にはインフルエンザによる体調不良で休みなどがあったが、GHなどと連携し乗り切ることができた。

〔展望〕

- ・場面ごとの人数確認を行うことで安全に活動していく。
- ・一人一人の障害特性の理解を深め、その人らしい生活を提供できるように日々努力する。
- ・「自己選択」「自己決定」を意識した活動の設定を行い、様々な経験を増やしていく。
- ・職員が学ぶ時間を切り出し、学ぶことで支援力の向上を目指していく。

トリニティ（生活介護事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
北区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	478	502	545	517	458	511	536	512	511	468	458	510	6006

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
管理者	非常勤兼務	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常勤	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	6	6	6	6	6	6	6
生活支援員	非常勤	11	11	11	11	12	12	11
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3
合計		24	24	24	24	25	25	24

		11月	12月	1月	2月	3月
管理者	非常勤兼務	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	非常勤兼務	1	1	1	1	1
生活支援員	常勤	6	6	6	6	6
生活支援員	非常勤	10	10	10	10	10
看護師	非常勤	1	1	1	1	1
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	3	3	3	3	3
合計		23	23	23	23	23

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・2023年度の個別支援計画は2022年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2023年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

- ・スポーツ(ソフトボール・マラソン他)/勉強/ウォーキング/ショッピング/
町内清掃/畑作業/洗車作業/清掃作業/室内トレーニング/ボッチャ/体操

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	入所式・歓迎会・英会話・
5月	花見・英会話・
6月	英会話・
7月	円山動物園・英会話・
8月	英会話・
9月	英会話
10月	スポーツ大会・ハロウィンパーティー・英会話
11月	英会話
12月	クリスマス会・英会話
1月	成人式・英会話
2月	豆まき・英会話
3月	ひな祭り・英会話

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備（法廷点検 2回）

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	サービス 管理責任者	氏名	菊池 愛	選任届出年月日	令和1年8月1日
----	---------------	----	------	---------	----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	2023・10・20	避難・消火・通報・救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	2023・11・17	避難・消火・通報・救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	2024・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	2024・2・16	避難・消火・通報・救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	2024・3・15	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
支援員会議	毎月第1.3水曜日	24回		管理者・サビ管・生活支援員	8名	
各種委員会	毎月第4水曜日	12回		委員会担当職員	10名	
職員会議	毎月第4水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員	10名	
各部会議	毎月第2水曜日	12回		管理者・サビ管・生活支援員	10名	
マネージャー会議	随時	29回		マネージャー	2名	
リーダー会議	月1回	12回		マネージャー・リーダー	3名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・今年度は安心、安全というところで、場面ごとの人数確認に力を入れてきました。職員は毎日の確認を行う事で身につけることが出来て安全を守れた。
- ・支援の基本として CSP の肯定的な関わり方をベースに利用者さんと接してきた。利用者さん自身もポイントを貯めることを目標に社会スキルを学び成長につながったのでは。
- ・SV を毎週行うことで、良かったことや難しかったことを職員間で共有し、必要なことを考え支援に活かせるよう話し合いを行うことが出来た。また毎朝の打ち合わせで、支援の振り返りと、今日の支援の方法を話し合うことで、職員間のコミュニケーションが増えてきた。
- ・強度行動障害の対応が難しいなどの対応が難しい利用者には、片倉厚子先生コンサルテーションに参加し、工夫支援方法・工夫の仕方を学んだ。生活のスキルとして箸の持ち方、食べ方などが向上できるように支援した。継続して体操を行う事が出来ている。
- ・全体として落ち着いた環境を作り上げることが出来た。

〔展望〕

- ・従の施設が新たに出来るので、仕事チームを結束して働く事をメインに取り組んでいく。
- ・一人一人のアセスメントをとって、職員間で打合せをおこない、利用者さんに必要なスキルを話し合い共有して取り組んでいく。
- ・新しい活動を多く取り入れていく。
- ・安心・安全の為に、環境を常に改善して良いものとしていく。

V 家庭・くらし部門

ショートステイむぎのこ（短期入所事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	120	122	124	126	126	129	129	130	130	134	134	134	128.2
北区	39	40	40	41	42	42	42	42	44	45	45	48	42.5
西区	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.75
南区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
豊平区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区	1	1	2	3	3	3	3	3	4	4	4	4	2.9
手稲区	7	7	7	7	7	8	8	8	8	8	8	8	7.6
措置	12	13	13	13	13	14	14	14	15	16	16	16	14.1
計	182	186	189	194	195	200	200	201	205	211	211	214	199

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	206	229	256	268	236	243	245	214	224	236	210	230	2797

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	3	3	3	2	3	3	3	3	3	3	3	3
生活支援員	非常勤	20	20	23	24	23	24	23	24	27	27	27	27
看護師	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
調理員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
合計		33	33	36	36	36	37	36	37	40	40	40	40

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・食形態の変更など、ST・栄養士から助言を受けた。
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠

・休日はむぎのこの園庭・公園での外活動や散歩、制作等

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

・特になし

4. 施設設備管理業務

施設設備の修理・工事	① 窓柵の修理
施設設備の保守点検委託業務	暖房設備・スプリンクラー保守点検
施設設備の管理業務	① 外回り清掃(随時) ② 除雪(随時) ③ 排雪(市川造園により12~3月に12回)

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	氏名	竹内 透	選任届出年月日	2017年11月1日
----	----	------	---------	------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2022・4・22	避難・消火・通報・ 救出・その他	2022・10・21	避難・消火・通報・ 救出・その他
2022・5・20	避難・消火・通報・ 救出・その他	2022・11・18	避難・消火・通報・ 救出・その他
2022・6・17	避難・消火・通報・ 救出・その他	2022・12・16	避難・消火・通報・ 救出・その他
2022・7・22	避難・消火・通報・ 救出・その他	2023・1・20	避難・消火・通報・ 救出・その他
2022・8・19	避難・消火・通報・ 救出・その他	2023・2・17	避難・消火・通報・ 救出・その他
2022・9・16	避難・消火・通報・ 救出・その他	2023・3・17	避難・消火・通報・ 救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜日	12回		管理者・生活指導員	1名	
ショートむぎ職員会議	月1回	12回		管理者・生活指導員 看護師	4名	
感染防止委員会	月1回	12回	1回	管理者	1人	
建物管理・環境整備委員会	月1回	12回	1回	生活支援員	1人	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

・引き続き新型コロナウイルス感染症予防のため、手洗い・手指消毒・マスク着用・健康管理及び検温等の健康観察・室内換気・室内消毒を徹底して行い、感染防止に努めた。また、一時保護中に発熱などの病児保育が必要な際も、個別対応や衛生に努めて感染拡大を防いだ。

・思春期の対応では、関係部門と支援会議を開いて情報を共有したり、医師からの助言を得ることができて支援に活かした。

・投棄のルールや鍵のルール、安全のルールを見直し実践することで、事故を起こさないように努めた。

・毎日の打ち合わせでCSPの効果的な褒め方とアンガーマネジメントの練習を行い、利用者さんに肯定的に関わることや安全に過ごすことで、利用者さんの生活やリズムが安定していった。

〔展望〕

・感染予防対策を徹底し利用者さんと職員の安全を守る。

・看護師や栄養士、ST・OTの専門職員と連携を図り、引き続き重心のお子さんも受け入れていく。

・幼児から思春期まで、幅広い利用者さんに対応することが求められるが、職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行う。

ショートステイピース（短期入所事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	153	154	155	159	160	163	164	166	168	168	169	169	162
北区	19	19	19	19	19	19	19	20	20	20	23	23	20
西区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
南区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
白石区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
豊平区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
中央区	1	1	2	2	3	3	4	4	4	4	4	4	3
手稲区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
措置	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
計	196	197	199	203	205	208	210	213	215	215	219	219	208

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	307	304	315	299	285	300	313	306	285	293	297	295	3599

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5
生活支援員	非常勤	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24	24
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
調理員	非常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	常 勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		36	36	36	33	36	36	36	36	36	36	36	36

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日は園庭・公園での外活動・クッキング・制作等

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

4. 施設設備管理業務

- ・特になし

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	生活介護トリニティサービスマニエール責任者	氏名	菊地 愛	選任届出年月日	2019年8月1日
----	-----------------------	----	------	---------	-----------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023.4.21	避難・消火・通報・救出・その他	2023.10.20	避難・消火・通報・救出・その他
2023.5.19	避難・消火・通報・救出・その他	2023.11.17	避難・消火・通報・救出・その他
2023.6.16	避難・消火・通報・救出・その他	2023.12.15	避難・消火・通報・救出・その他
2023.7.21	避難・消火・通報・救出・その他	2024.1.19	避難・消火・通報・救出・その他
2023.8.18	避難・消火・通報・救出・その他	2024.2.16	避難・消火・通報・救出・その他
2023.9.15	避難・消火・通報・救出・その他	2024.3.15	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・生活支援員	3名	
ショートステイ全体会議	毎週火曜日			管理者・生活支援員	3名	
ピース会議	毎週金曜日	12回		管理者・生活支援員	4名	
権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会	月1回	12回		管理者	1名	
苦情処理委員会	年3回			生活支援員	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。
- ・児童相談所からの一時保護委託や要保護家庭の緊急の依頼に対し、速やかに対応した。各機関や各部門と連携して随時支援会議を行い、安全確保と支援内容の向上に努めた。一時保護の子ども達は、ショートで落ち着きを取り戻し家庭復帰、里親家庭、ファミリーホーム、グループホームへと繋ぐ事が出来た。
- ・CSPやアンガーマネジメントを学習して練習する事で、肯定的に関わり、必要な時にはすぐに助けを求めて、利用者さんも職員も落ち着いて、明るく安全に過ごす事が出来た。また、夜勤者との引継ぎ時にも必ずアンガーマネジメントの練習を行い、虐待防止に努めた。
- ・鍵のルール・薬のルール・アレルギー対応・人数確認のルールを強化し、事故防止に努めた。

〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、1対1の対応をしないようにして、安心・安全で明るい支援を行って行く。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂くように、職員が連携して常に明るく肯定的な対応に心がける。衛生・身だしなみ・環境整備に留意する。
- ・引き続き、鍵のルール、薬のルール、アレルギーの対応、人数確認を徹底して、事故防止に努める。
- ・毎週GSV、ショート会議を行い、問題解決・支援の向上に努める。

ショートステイホームハーベスト（短期入所事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	47	48	50	55	57	60	64	67	67	67	68	69	60.0
北区	10	10	11	11	12	13	13	14	14	14	15	19	13.0
西区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	3.1
白石区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
中央区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
手稲区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3.1
豊平区									1	1	1	1	0.3
石狩市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0
措置	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0
計	72	73	76	81	84	88	92	96	96	97	99	106	96.3

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	144	138	154	160	142	156	171	146	127	151	154	167	1810

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
生活支援員	常 勤	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1
生活支援員	非常勤	6	7	7	8	9	9	11	10	10	11	11	13
看護師	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
栄養士	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		10	11	11	12	13	13	16	14	14	15	15	17

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・短期入所計画作成
- ・安全マニュアル作成
- ・必要に応じて各部署と支援会議を行い、支援の方向性を検討した。

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・送迎・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠
- ・休日は散策等

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

4. 施設設備管理業務

- ・特になし

5. 防災対策

(1)防火管理者の状況

職名	防火管理管理者	氏名 古家 健司		選任届出年月日	平成 24 年 7 月 12 日
----	---------	-------------	--	---------	------------------

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	【防火】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他	2023・10・20	【防火・防災】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他
2023・5・19	【防火】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他	2023・11・17	【防火・防災】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他
2023・6・19	【防火】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他	2023・12・15	【防火・防災】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他
2023・7・21	【防火】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他	2024・1・19	【防火】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他
2023・8・18	【防火】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他	2024・2・16	【防火・防災】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他
2023・9・15	【防火】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他	2024・3・15	【防火・防災】避難・消火・通報・ 救出 ・ その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・生活支援員	3名	
ショートステイ全体会議	毎週火曜日			管理者・生活支援員	3名	
ショートハーベスト会議	毎週金曜日	12回		管理者・生活支援員	3名	
権利擁護・虐待防止・身体拘束適正化委員会	月1回	12回		管理者	1名	
苦情処理委員会	年3回			生活支援員	1名	
感染防止委員会	月1回	12回		看護師	1名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・コロナの感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。
- ・重度心身障害の子ども達を受け入れて支援した。看護師が常に配置できた。
- ・CSP やアンガーマネジメントを学習して練習する事で、肯定的に関わり、必要な時にはすぐに助けを求めて、利用者さんも職員も落ち着いて、明るく安全に過ごす事が出来た。また、職員の引継ぎ時にも必ずアンガーマネジメントの練習を行い、虐待防止に努めた。
- ・鍵のルール・薬のルール・アレルギー対応のルールを強化し、事故防止に努めた。

〔展望〕

- ・引き続き、感染予防対策を徹底して利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員が CSP を用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、1対1の対応をしないようにして、安心・安全で明るい支援を行って行く。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂くように、職員が連携して常に明るく肯定的な対応に心がける。衛生・身だしなみ・環境整備に留意する。
- ・引き続き、鍵のルール、薬のルール、アレルギーのルールを徹底して、事故防止に努める。
- ・毎週 GSV を行い、問題解決・支援の向上に努める。

居宅介護事業所むぎのこ

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

居宅介護

(単位 人)

市区町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	115	116	116	119	126	117	126	124	121	124	122	112	120.0
北区	12	12	11	13	13	13	14	12	8	11	13	14	12.2
西区	1	1	1	1	1	1	1	1		1	1	1	0.9
中央区													
計	128	129	128	133	140	131	141	137	136	136	136	127	133.5
前年度	144	150	146	141	146	136	137	132	126	129	131	134	137.6

行動援護

市区町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	42	41	43	42	43	39	41	43	44	46	42	28	41.2
北区	10	10	10	11	11	11	11	10	8	11	10	8	10.1
豊平区													
手稲区													
計	54	53	55	55	57	53	55	56	54	60	55	38	53.75
前年度	48	49	52	54	54	51	51	51	49	51	51	55	51.35

移動支援

市区町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	61	65	64	59	66	54	60	59	61	62	59	53	60.3
北区												1	0.1
西区													
手稲区													
計	61	65	64	59	66	54	60	59	61	62	59	54	60.3
前年度	79	79	79	80	80	75	76	71	71	71	68	71	75

(2) 利用延べ人数

居宅介護

(単位 人)

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	486	501	487	467	426	455	513	475	403	373	381	409	5376
前年度	451	489	552	502	455	539	539	508	493	446	420	526	5920

行動援護

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	64	71	73	77	66	69	79	61	56	58	69	69	812
前年度	49	32	47	60	35	42	60	52	48	46	38	48	557

移動支援

月	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計	215	220	214	165	107	164	189	158	171	110	163	134	2010
前年度	220	241	307	230	144	260	293	220	213	155	217	218	2718

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常勤・兼務	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス提供責任者	常勤	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
登録ヘルパー	非常勤	36	28	28	28	28	32	31	31	33	33	33	34
合計		40	31	31	31	35	34	34	36	36	36	36	37

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案の作成
- ・年1回作成した介護計画を保護者に説明して同意を得る。
- ・モニタリングの実施

(2) 主な日中活動

- ・アセスメント
- ・介護計画の作成
- ・モニタリングの実施
- ・居宅介護事業（食事介助・入浴介助・排泄介助・家事援助・行動援護等）
- ・移動支援事業（外出時における移動中介助・排泄・食事の介助・通学支援）
- ・養育支援員派遣事業

4. 施設設備管理業務

- ・消火器の点検

5. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
職員会議	毎月第1木曜	12回		管理者・サービス提供責任者	3名	
苦情処理委員会	月1回	12回		管理者	1名	

6. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

7. 評価と展望

〔評価〕

- ・契約も増え、朝から夜の全時間帯に利用したい人が増えている。
- ・キャンセルが出た場合は、ほかの利用者さん宅に訪問できるようにした。
- ・通学支援の時間や年齢に応じた同性介助ができるように、朝に稼働できる人や男性ヘルパーを確保し、スケジュール調整を行い利用者さんのニーズに答えられるようにした。
- ・状況に応じて各部署が集まって支援会議を行う事で、利用者さんの情報を共有でき、ヘルパーの支援内容の方向性が決まり支援することが出来た。
- ・ヘルパー時、マスクの着用、手指消毒、食事介助の時のグローブの使用を徹底し、感染予防に努めた。
- ・ヘルパー訪問の移動時や福祉有償運送での移動の際、安全に気をつけて移動した。

〔展望〕

- ・通学支援、家事援助、通院介助、グループホームの余暇活動、休日の余暇活動、17:00以降の身体介護など全時間・全曜日に利用者さんのニーズがある、各曜日・各時間帯に稼働できるヘルパーを確保していく。
- ・引き続きCSPを用い効果的な褒め方を用い肯定的な関わりを行っていけるように努める。

ガブリエルホーム（ファミリーホーム）・ティンカーベル（一次保護所）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数(ガブリエルホーム)

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
措置	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
一時保護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
前年度	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	180	186	180	186	186	180	186	180	186	186	174	186	2196

(1) 利用契約者数(ティンカーベル)

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
一時保護													
計													
前年度		8	1	1	7	4	4	11	5	1	0	1	

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数		62	12	10	77	29	36	76	38	5	0	4	286

2. 職員配置状況

(1)ガブリエルホーム

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者兼養育者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	非常勤	1	2	2	2	4	5	5	5	5	5	5	5
合計		3	4	4	4	6	7	7	7	7	7	7	7

(2)ティンカーベル

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
保育士	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
養育補助者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

3. 支援業務

(ガブリエルホーム)

(1) 個別支援計画の策定

- ・児童自立支援計画が児童相談所より届き確認した。
- ・発達支援プランを作成した。

(2) 主な日中活動

- ・整容・朝食・出発準備・おやつ・夕食・入浴・公園遊び

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	カーペンターズ、お誕生会、避難訓練
5月	お誕生会、避難訓練、小学校運動会
6月	避難訓練
7月	避難訓練、北海道ファミリーホーム研究大会(朝里川温泉)
8月	避難訓練
9月	避難訓練
10月	学童運動会、お誕生会、避難訓練、カーペンターズ
11月	生活発表会、避難訓練、学習発表会
12月	もちつき、お誕生会、避難訓練、クリスマス会
1月	お正月会、避難訓練
2月	豆まき、避難訓練
3月	ひなまつり、避難訓練

(ティンカーベル)

(1) 主な日中活動

- ・整容・朝食・午前活動・昼食・おやつ・午後活動・夕食・入浴

4. 施設設備管理業務

(ガブリエルホーム)

- ・火災報知器、消火器の点検(法定点検年2回)
- ・室内清掃(毎日)
- ・室外清掃・草花の手入れ(都度)

(ティンカーベル)

- ・室内清掃(毎日)
- ・室外清掃・草花の手入れ(都度)

5. 防災対策

(ガブリエルホーム)

(1)防火管理者の状況

職名		氏名	届出義務無し	選任届出年月日	
----	--	----	--------	---------	--

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・22	避難・消火・通報・救出・その他	2023・10・21	避難・消火・通報・救出・その他
2023・5・27	避難・消火・通報・救出・その他	2023・11・25	避難・消火・通報・救出・その他
2023・6・24	避難・消火・通報・救出・その他	2023・12・23	避難・消火・通報・救出・その他
2023・7・22	避難・消火・通報・救出・その他	2024・1・27	避難・消火・通報・救出・その他
2023・8・26	避難・消火・通報・救出・その他	2024・2・24	避難・消火・通報・救出・その他
2023・9・23	避難・消火・通報・救出・その他	2024・3・27	避難・消火・通報・救出・その他

(ティンカーベル)

(1)防火管理者の状況

職名		氏名	届出義務無し	選任届出年月日	
----	--	----	--------	---------	--

(2)非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
		2023・10・21	(避難)消火・通報・救出・その他
2023・5・27	(避難)消火・通報・救出・その他	2023・11・25	(避難)消火・通報・救出・その他
2023・6・24	(避難)消火・通報・救出・その他	2023・12・23	(避難)消火・通報・救出・その他
2023・7・22	(避難)消火・通報・救出・その他	2024・1・27	(避難)消火・通報・救出・その他
2023・8・22	(避難)消火・通報・救出・その他	2024・2・24	(避難)消火・通報・救出・その他
2023・9・30	(避難)消火・通報・救出・その他	2024・3・27	(避難)消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

(ガブリエルホーム)

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ファミリーホーム会議	毎週火曜日			管理者・養育補助者	8名	
グループSV	毎週水曜日			管理者・養育補助者	3名	

(ティンカーベル)

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
ファミリーホーム・ティンカーベル会議	毎週火曜日			管理者・保育士	2名	
グループSV	毎週木曜日			管理者・保育士	2名	

7. 苦情内容及び結果の公表

(ガブリエルホーム)

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

(ティンカーベル)

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	

8. 評価と展望

(ガブリエルホーム)

〔評価〕

- ・コロナが明けてマスク手洗いを徹底しているが、日が経つにつれて場所や状況によりマスクの着用を推奨している。コロナやインフルエンザなどの感染症予防のためまだ予断を許さない状況なので注意している。ファミリーホームの北海道大会を一昨年に引き続き対面で開催し、今年度は、小樽の朝里川温泉で開催し全員で参加出来全道のファミリーホームとの交流を大人も子どもも出来て喜んでた。小学校やディサービスなどと連携し子どもの状態をお互いに共有し配慮していくことが出来た。
- ・CSPの予防やスキル練習をして関わり、褒めることに重点を置いて養育した。子どもたちの意見や願いを丁寧に聞いて、気持ちを尊重し安心して生活できるようになってきている。
- ・外出の機会が増えてきて、キャンプは、日帰りで楽しんだ。が子どもたちも楽しむことが出来た。夏は、ビニールプールで遊んだり、ジャガイモやミニトマトの収穫を一緒にすることが出来た。冬は、除雪をしながら終わった後の達成感を得る事が出来た。

〔展望〕

- ・コロナが5類に移行しているが、引き続き状況によりマスク着用、手洗い消毒を徹底して行って行く。
- ・小学校、中学校、デイサービス等とも連携して子どもが安心して安全な生活を送れるように支援していく。
- ・4ホームとティンカーベルの連携が増えて行き、子どもたちの希望も聞きながら協力し合って子どもたちを支援していく。

(ティンカーベル)

〔評価〕

5月より札幌市児童相談所よりコロナ感染児童専用の一時保護専用施設として開所（本来は定員6名の一時保護専用施設で稼働する予定であったが、コロナ感染者が急増のため予定変更となる）

5月の開所から、札幌市のコロナ感染者が急増するとティンカーベルの利用児童も急増することとなった。5月、8月、11月がピークの利用であった。

ティンカーベルへは、7か月の赤ちゃんから高校生までが利用（高校生は途中から療養ホテルへ行くことになる）し、利用する理由として、児童相談所の一時保護所での感染、もしくは自宅で感染したため、保護者が養育できないというのが主な理由である。

1日のスケジュールは厳しいものがあつた。感染しているため外出することができず、屋内でどのように過ごすかについては苦慮するものがあつた。幼児などは折り紙や塗り絵、学童はプリント学習など、また気晴らしなどでDVDや映画を見ることもあつた。

子どもの様子

基本的には7日間の利用

高熱で来所するが、早ければ1日で、長くても2日で熱は下がる。また全く症状のない子どももいる。初めて感染した子が多数だが、中には2回目の感染の児童も数名いた。（デルタ→オミクロン・オミクロン→オミクロン）

短期間でどれだけ安心、落ち着いて生活できるかに配慮

一時保護されての不安、そこでコロナに感染して不安、それなのに知らない場所（ティンカーベル）で過ごす生活でもっと不安。これら3つの不安がある中、どのようにしたら少しでも安心して生活ができるかに配慮した支援を行った。とにかく話を聞く、そばにいて一緒に過ごすことを徹底した。

利用期間は7日間と短い、その中でも子どもたちの成長を見届けることができる仕事である。

〔展望〕

・今後は、コロナも2類から5類へ変更になり通常の一時保護所となるため、コロナ時とのかかわり方とはまた一味違うかかわりとなるため、その部分に配慮しつつも、子ども達の思いを尊重できる、また誰よりも味方となれる職員の育成が必要であり、育成していかなければならない。

向けた支援を継続していく。

ホワイトハウス（グループホーム）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	54	54	54	54	54	54	54	54	53	54	54	54	54
北区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
西区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
豊平区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
清田区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
厚別区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
札幌市外	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
計	66	66	66	66	66	66	66	66	65	66	66	66	

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	1817	1847	1868	1900	1787	1838	1913	1858	1857	1819	1746	1913	22163

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人	常 勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世話人	非常勤	25	25	26	27	27	27	28	28	28	28	28	28
生活支援員	常 勤	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	17	17
生活支援員	非常勤	4	4	5	5	5	6	6	6	6	9	9	9
合計		49	49	51	52	52	53	54	54	54	57	57	57

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・2022年度の個別支援計画は2021年度終了評価で利用者本人、保護者同席のもと面談。それを基に検討会議を行い、個別支援計画を策定。その後利用者、保護者同席のもと2022年度個別支援計画を説明し、同意を得る。(9月に同様に後期個別支援計画を行った。)

(2) 主な日中活動

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

4月	誕生会
5月	誕生会
6月	誕生会
7月	誕生会
8月	誕生会
9月	誕生会
10月	誕生会
11月	誕生会
12月	誕生会、クリスマス
1月	誕生会
2月	誕生会
3月	誕生会

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備 (法定点検年2回)

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	防火管理責任者	氏名	内山武人	選任届出年月日	2015年9月
----	---------	----	------	---------	---------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2022・4・15	避難・消火・通報・救出・その他	2022・10・21	避難・消火・通報・救出・その他
2022・5・20	避難・消火・通報・救出・その他	2022・11・18	避難・消火・通報・救出・その他
2022・6・17	避難・消火・通報・救出・その他	2022・12・16	避難・消火・通報・救出・その他
2022・7・15	避難・消火・通報・救出・その他	2023・1・20	避難・消火・通報・救出・その他
2022・8・19	避難・消火・通報・救出・その他	2023・2・17	避難・消火・通報・救出・その他
2022・9・17	避難・消火・通報・救出・その他	2023・3・17	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
グループホーム会議	毎週月曜	52回		管理者・サビ管	19名	男女別で

				世話人・生活支援員		行なった
グループマネージャー会議	毎月第三水曜日	20回		管理者・サビ管 生活支援員	6	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・2022年度もホーム利用者にコロナ陽性者が出たが、ホームの閉鎖までには至らずに対応する事が出来ていた。
- ・コロナ禍でキャンプやスポーツ観戦など、集団での屋外活動は引き続き自粛していた。
- ・職員やパートの急な欠勤や長期入院、夏季休暇など通所の休業期間の際には通所職員にも協力してもらい、ホームの配置に入ってもらった。
- ・有休消化を計画的に立てて消化する事が出来たが、夜勤者の有休取得や急な欠勤の際の配置変更は課題となった。

〔展望〕

- ・利用者支援では常に通所と連携・連絡を密に取って支援を行っていく。
- ・各ホームで消毒・換気を継続して感染予防に配慮していき、利用者さんが安全に暮らせる環境作りに努めていく。
- ・今後は様子を見て集団での屋外活動も検討していき、外で楽しめる機会を作っていく

ショートステイホームカリブ（短期入所事業）

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	23	22	19	18	15	17	19	13	17	18	18	19	18.1
北区	1	1	1	1	3	6	1	0	1	1	1	1	1.5
西区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手稲区	3	3	4	3	3	4	4	3	3	0	0	0	2.5
厚別区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	27	26	24	22	21	27	24	16	21	19	19	20	22.1

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
計	27	26	24	22	21	27	24	16	21	19	19	20	266

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
サービス管理責任者	常 勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
世話人	常 勤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世話人	非常勤	26	25	25	26	27	27	26	26	24	24	24	24
生活支援員	常 勤	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16	16
生活支援員	非常勤	10	10	10	9	11	11	11	11	13	13	13	13
合計		54	53	53	53	56	56	55	55	55	55	55	55

3. 支援業務

(1) 個別支援計画の策定

- ・ジャンプレッツ・ハーベストガーデン・トリニティと連携をとり、短期入所計画を策定している

(2) 主な日中活動

- ・起床・洗面・着替え・朝食・送迎
- ・夕食・入浴・くつろぎ・睡眠

(3) 余暇活動支援(行事・旅行・クラブ活動等)

- ・特になし

4. 施設設備管理業務

- ・防災設備（法定点検年2回）

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	防火管理責任者	氏名	内山 武人	選任届出年月日	2015年9月
----	---------	----	-------	---------	---------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
2023・4・21	避難・消火・通報・救出・その他	2023・10・20	避難・消火・通報・救出・その他
2023・5・19	避難・消火・通報・救出・その他	2023・11・18	避難・消火・通報・救出・その他
2023・6・16	避難・消火・通報・救出・その他	2023・12・15	避難・消火・通報・救出・その他
2023・7・21	避難・消火・通報・救出・その他	2024・1・19	避難・消火・通報・救出・その他
2023・8・18	避難・消火・通報・救出・その他	2024・2・16	避難・消火・通報・救出・その他
2023・9・15	避難・消火・通報・救出・その他	2024・3・15	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
グループホーム会議	毎週月曜	52回		管理者・サビ管 世話人・生活支援員	19名	男女別で行っている

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	なし

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・11月はカリブ居住者でコロナ感染が続いたため、安全を考慮してショートを閉所した為稼働率が下がってしまった。
- ・利用者の自己決定や自己選択を尊重する事を第一に支援を行なっていく。
- ・関わりが難しい利用者に関してはその都度、通所と連携をとりチームで支援する事が出来た。
- ・感染対策のため、消毒・手洗い・換気・マスクの着用・検温等徹底し、利用者さんと職員の健康管理に努めた。

〔展望〕

- ・コロナ感染は落ち着いたが、引き続き、職員はマスクを着用するなど感染予防対策を行い利用者さんと職員の安全を守って行く。
- ・職員全員がCSPを用いて利用者さんと肯定的に関わり、逃げる練習・助けを求める練習・落ち着く練習を日々行い、安心・安全で明るい支援を行う。
- ・利用者さんも保護者の方も、利用して良かったと思って頂けるように、職員が連携して明るく肯定的な対応に心がける。

VI クリニック

むぎのこ発達クリニック

1. 施設利用状況

- ・1年間の受診者数 12,719人 1日平均47.6人
 (紹介状：505通 特別児童扶養手当診断書：215通
 国民年金診断書(精神障害用)：61通 福祉手当診断書：21通
 自立支援意見書：17通 精神通院医療診断書：7通
 デイサービス診断書：64通 発達・知能検査レポート文書：768通
 保育園幼稚園加配診断書(保育園診断書)：82通 アレルギー診断書：4通)
- ・インフルエンザ予防接種 961人 その他文書：21通
- ・定期・任意の予防接種(定期接種：242人 任意接種：28人)

2. 健康管理業務

(1) 医療体制

- ・通常の診療体制が、その月によって生じる体制変更の内容は、むぎのこ掲示板とジャンプレッツに掲示している。また、クリニックだよりのお知らせ欄には、確実に記載していく。
- ・療育中のけがにおいては、診療を最優先にして即時に対応した。
- ・特定の整形外科等とは、今後も協力いただけるよう、日頃の連携を大切にしていた。

(2) 健康管理

- ・職員の健康診断を、早期に済ませれるようスケジュールに沿って確実に受けれる手配を手早くした。
- ・秋には、法人全体の健康診断状況や結果をチェックして必要時個別に対応した。
- ・各事業所の感染対策、衛生管理等の意識付けをタイミングをみて行った。
- ・市内の感染症や法人内の罹患状況を把握して、できるだけ迅速に対応して蔓延防止に努めた。

3. 施設設備管理業務

- ・セコムに引き続き依頼して、防犯対策を行った。
- ・設備の点検・補修等は、辻野建設にすぐに対応していただいた。
- ・施設周囲の点検・整備はこまめに行い、近隣とのコミュニケーションの目的としても意識して行った。

4. 職員配置状況

(人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
医師	非常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
診察補助者	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
診察補助者	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ST/OT/心理療法者	常勤	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
ST/OT/心理療法者	非常勤	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8

法者													
事務員	常勤	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
事務員	非常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
合計		26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26

5. ボランティアの受入

・特になし

6. 実習生・介護等体験の受入

むぎのこ実習生に対して、クリニックでの各種療法や親子教室の見学など、クリニックの位置づけを通して、依頼時には随時対応した。

7. 障害者自立支援法による事業の整備

むぎのこ利用児・者の他にも、福祉資源を有効に活用できるよう情報提供と、必要時診断書および意見書の作成・調整・相談を行った。

8. 人事労務・給与制度等(全事業共通)

人事労務管理	異動事項特になし
給与制度	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉職員処遇改善助成金による処遇改善の実施 ・最低賃金改定に伴い時間給を改善 ・みなし労働制を導入
職員福利厚生	<ul style="list-style-type: none"> ・職員福利厚生の充実のため、パートタイム職員も含め、福利厚生センター（ソエルクラブ）への加入を促進した。 ・全職員に対する定期健康診断を実施した。 ・腰痛検査を実施した（直接処遇職員）。

9. 職員研修

(1) 法人・事業所内研修

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
4/1	むぎのこ	法人研修	9名
7/29～7/30 12/5～12/6	むぎのこ	リハビリテーション職員研修ポバースコンサルテーション	5～6名

日時	主催者	研修会名称	参加職員数
10/12～14	日本作業療法士協会	第54回日本作業療法学会	1名
11/5～11/6	日本感覚統合学会	第39回日本感覚統合学会研究大会	1名
4/23～4/24	日本DCD学会	第5回日本DCD学会学術大会	1名
7/9 10/19	北海道感覚統合研究会	2022年度北海道感覚統合研究会定期講習会	2名

10. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
全体会議	月1回	12回	0回	クリニック全職員	7～8名	

11. 財務・事務管理(全事業共通)

情報公開	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業所に事業・法人の報告・計画、決算・予算等を開示した。 ・ホームページを全面更新し、情報発信を強化した。 ・後援会と連携し、日常の様子を公開に努めた。
個人情報保護と共有	<ul style="list-style-type: none"> ・電子データを外部メディア等に複写すること等の禁止を徹底した。 ・電子データは専用サーバーに保存し、職員のみVPN接続で共有した。
苦情対応	<ul style="list-style-type: none"> ・苦情処理要綱により、各事業が迅速に対応した。
業務の効率化・コスト削減	<ul style="list-style-type: none"> ・本部配置職員(パートを含む)を増員し、各事業の共通業務を一元管理した。 ・各事業所のパソコンを随時更新・追加し、業務の効率化を図った。
契約の公正・透明性の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・利用契約は担当職員によって公正に契約した。 ・経理系契約は入札を含め、経理規程を遵守した。

事務管理の適正化	・法人職員と各事業所事務担当職員との連携を図った。
第三者評価	・第三者評価は実施していない。

12. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
月		

13. その他特記事項

法人内の医療事業としての意識をもって、むぎのこの年間スケジュールにより沿った連携が取れたと思う。今後は、より具体的な内容・意識を持って連携が取れればと思う。

14. 評価と展望

(1) 心理療法・査定 (アセスメント)

令和4(2022)年度心理支援業務報告 報告者 公認心理師・臨床心理士 吉村実保

令和4(2022)年度の心理士の体制は、常勤公認心理師：吉村実保，非常勤公認心理師：秋田有紀子・加藤香子・野畑隆子・福原尚子・水上真理子の5名が勤務した。

① 個人心理療法

心理療法の方法は、各セラピストの専門性により、実際の行動の改善を目的とするアプローチ（認知行動療法，遊戯療法，精神分析的トラウマ療法）、心の中の対人関係の改善やコミュニケーションの向上を目指すアプローチ（発達期の認知行動療法，遊戯療法）、支持的心理療法など様々あるが、セラピストは個々のクライアントのニーズや問題を十分考慮した上で、そのクライアントに適した支援を行った。

秋田は、5名に実施した。内容は、認知支援・SST 1名，漸次接近法2名，ASD1名，不登校・緘黙1名だった。

水上は、5名に実施した。内容は、サポートティブな面接，親子合同面接，子育て支援などだった。

吉村は、11名に実施した。内容は、感情表現の拡大，発達促進のための遊戯療法，アサーティブなコミュニケーションの向上，怒りと衝動性のコントロールなどだった。

合計 19 ケース

② 心理査定

各種（発達・知能・心理）検査は、子ども【新版K式発達検査，WISC-IV，田中ビネー知能検査，描画をはじめとした心理検査 etc】、成人【WAIS-III，田中ビネー知能検査 etc】を実施した。

a) 新版K式発達検査

秋田（4），加藤（103），福原（20），吉村（166），クリニック支援（63）

合計 356 ケース

b) 田中ビネー知能検査（V）

秋田（73），加藤（62），野畑（35），吉村（173），クリニック支援（13）

合計 356 ケース

c) ウェクスラー式知能検査（WISC-IV・WAIS-III）

秋田（12），加藤（12），吉村（62），クリニック支援（4）

合計 90 ケース

d) その他発達検査（遠城寺式・乳幼児分析的発達検査など）

加藤（1），福原（2），吉村（4）

合計 7 ケース

e) 質問紙法による心理検査（MMPI，YG，TEG，MAS etc）

秋田（1），吉村（3）

合計 4 ケース

f) 投映法による心理検査（HTP，PF スタディ，風景構成法，バウム，ロールシャッハ etc）

秋田（4），吉村（7）

合計 11 ケース

g) 神経心理学的検査（フロスティグ視知覚発達検査，ベンダーゲシュタルト検査，Rey 複雑図形検査）

秋田（7）

合計 7 ケース

h) 発達心理学的検査（グッドイナフ人物画知能検査）
秋田（8）、吉村（8）

合計 16 ケース

③ 集団精神療法

開始前にセンターと事業、保育園の担任の先生と打ち合わせをしたうえで、方法はそれぞれの集団の特徴を考慮し、SST、ロールプレイ等の認知行動療法や集団プレイセラピーを組み合わせ実施した。

今年度実施した小集団は、合計10グループだった（隔週1回40～50分）。

センターぞう組（みかほ含）：3グループ（3人／加藤，5人／水上，7人／吉村）

事業シーランチ組：2グループ（6人／秋田，6人／加藤）

事業ヨシア組：2グループ（8人／秋田，5人／水上）

保育園組：2グループ（2人／秋田，2人／水上）

水上は通院する児の親8名に愛着のパターン別の勉強会グループを実施した。

水上は通院する児7名に性教育グループを実施した。

(2)障害児・者リハビリテーション

1.言語聴覚業務報告

言語聴覚士 矢田 麻貴 結城佳生里

I. “言語聴覚士業務計画”に基づく実施報告

①言語評価

医師の指示の下、コミュニケーションに関する客観的ならびに主観的評価を実施し、親への説明、相談を行った。評価後は必要に応じて指導へと移行した。

②言語指導

R4(2022)年度末時点での言語聴覚療法対象児の総数は矢田 113名 結城 88名 201名であった。子どもの状態に応じて、40分間の個別指導を主とした言語指導、構音（発音）指導、AAC（拡大・代替コミュニケーション）指導、摂食指導を行った。定期的に、医師を交えて親への内容・経過報告、方針再検討等の機会を設けた。
※3月で終結また新規開始予定児や評価のみも含む。

④ 摂食指導

従事した対象児は0名。

2.作業療法士業務報告

作業療法士 大坪 光保 鳥越 夕妃 川合 麻里奈 松田 京

運動機能面（粗大動作・巧緻動作・協調運動など）・行動面・情緒面・認知面等に発達上の困難さがある子どもについて、医師の指示のもと評価し、1回40分～60分、週1回または2週間に1回、月1回の設定で作業療法（個別機能訓練）を実施した。また、作業療法評価のみを実施し、結果を診察時にお伝えして経過観察とする例もあった。

札幌市より、社会福祉法人麦の子会が指定管理を受けたことにより、札幌市みかほ整肢園でのリハビリテーション業務を大坪と川合が兼務した。

実習生の受け入れ：北海道大学・北海道医療大学・千歳リハビリテーション大学より計5名

大坪：93例 鳥越：4例 川合：26 松田：83例 （計：206例）

3.理学療法士業務報告

理学療法士 高松 由梨奈 松原 鮎香

(1)運動機能面(粗大運動・協調運動など)・行動面・情緒面・認知面等に発達上の困難さがある子どもについて、医師の指示のもと評価し、1回40分～60分、週1回または2週間に1回、月1回の設定で理学療法（個別機能訓練）を実施した。2か月に一度ジャンプレッツの方が来て健康体操などの実施やトリニティへ行き理学療法(個別機能訓練)を実施した。また、理学療法評価のみを実施し、結果を診察時にお伝えして経過観察とする例もあった。

札幌市より、社会福祉法人麦の子会が指定管理を受けたことにより、札幌市みかほ整肢園でのリハビリテーション業務を高松が兼務した。

松原：18例 高松：33例 （計：51例）

(2) 親子教室

午前：週2回、午後：週3回、未就園児から市内の保育園・幼稚園に通っている未就学児までを対象とし、親子教室（クリニック母子支援事業）を、医師、公認心理師、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、看護師とともに実施

した。

(3) むぎのこ児童発達支援センター、児童発達支援事業むぎのこ、成人事業所との連携

・月1回程度、落合作業療法士の来園訓練に合わせ、ジャンプレッツ利用者の方や、パンジー組の訓練対象児への関わり方を指導いただいた。また、法人内事業所利用者を中心に、幼児・学童・成人部門それぞれの通園児・利用者らの身体機能・生活技能・認知機能の獲得、維持、向上を図るため個別に関わり、直接的または間接的に発達支援を行った。

(4) クリニック他職種との連携

医師、公認心理師、言語聴覚士、作業療法士、理学療法士、看護師と、都度、対象者についての報告・相談を行い、毎月のクリニック全体会議の中で情報交換をし他職種とのより円滑な業務連携が図られるよう努めた。

VI 地域連携

相談室セーブネス

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	500	509	519	520	529	535	546	555	563	567	574	579	541
北区	61	62	63	63	63	64	65	65	65	68	68	69	64
西区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
南区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
白石区	4	4	5	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5
豊平区	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
中央区	3	3	4	5	5	5	6	6	6	6	6	7	5
手稲区	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
厚別区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
清田区	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市外	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
計	578	588	601	603	613	620	633	642	650	657	664	671	626

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	677	661	728	657	693	707	757	736	710	729	721	722	8498

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談支援専門員	常勤	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
相談支援専門員	兼任	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
相談員	常勤	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1
相談員	兼任	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0
地域支援員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
地域支援員	兼任	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	8

3. 支援業務

(1) サービス等利用計画案、サービス等利用計画の策定

- ・アセスメントに基づきサービス等利用計画案を作成。
- ・サービス担当者会議に基づき、サービス等利用計画を作成。

(2) 主な日中活動

- ・基本相談支援
- ・アセスメント
- ・サービス等利用計画案の作成
- ・サービス担当者会議の開催
- ・サービス等利用計画の作成
- ・モニタリングの実施

4. 施設設備管理業務

・
・

5. 防災対策

(1) 防火管理者の状況

職名	火気取扱 責任者	氏名	田中 佳子	選任届出年月日	2022年4月1日
----	-------------	----	-------	---------	-----------

(2) 非常災害に対する訓練の状況

実施年月日	実施訓練内容	実施年月日	実施訓練内容
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他
・ ・	避難・消火・通報・救出・その他	・ ・	避難・消火・通報・救出・その他

6. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加 人数	参考事項
		定例	臨時			
サービス担当者会議	計画作成時		9回	相談支援専門員他		
要保護児童対策地域協議会	随時		11回	相談支援専門員他		
ケース会議	随時		92回	相談支援専門員他		
自立支援協議会 (事務局会議等含む)	毎月1回	51回		相談支援専門員他	10～ 15名	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	なし	
	なし	

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・障がい種別に関係なく、札幌市の障がい児・者又は家族の日常生活の相談、金銭管理、福祉サービス、就労支援、精神的支援に訪問、来所、電話、メールで応じた。各種福祉サービス申請に関わる援助をし、区役所、児童相談所、教育相談、病院、学校、法律事務所などの同行支援等を行った。計画相談として、サービス等利用計画の作成をした。
- ・札幌市自立支援協議会、札幌市自立支援協議会東区部会に参加した。障がい有無に関わらず、互いに理解し、共生できる地域を目指すことを目的に研修等を行った。関係機関との連携で、要保護家庭や保護者に障がいがある家庭、子どもに障がいがある家庭への支援を行った。
- ・地域支援員の委託を受け、保育士さん等と協力し、民生児童委員、福祉協力員の方と一緒に地域に浸透するよう活動した。民生委員からの相談ケースもでてきており、連携することができた。

〔展望〕

- ・今後も本人主体の相談を心がけ、人権を尊重した支援を行う。
- ・児童発達支援センター、児童相談所、病院、まあち、保健センター、学校等の関係機関と連携する。
- ・本人そして家族を大事にする相談室を目指す。

むぎの子ども相談室

1. 施設利用状況

(1) 利用契約者数

(単位 人)

区市町村	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平均
東区	192	192	192	193	193	193	193	193	193	193	193	193	193
北区	63	63	63	65	65	65	65	65	65	65	65	65	65
西区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
南区	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
中央区	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
手稲区	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
石狩市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
当別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	263	268	268	271	271	271	271	271	271	271	271	271	271

(2) 利用延べ人数

(単位 人)

	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
人数	6	23	21	28	21	35	23	31	21	16	17	29	271

2. 職員配置状況

(人)

		4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
管理者		1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
相談支援専門員	常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
事務	非常勤	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計		3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

3. 支援業務

(1) サービス等利用計画案、サービス等利用計画の策定

- ・ アセスメントに基づきサービス等利用計画案の作成
- ・ サービス担当者会議に基づき、サービス等利用計画の作成
- ・ 基本相談支援
- ・ アセスメント
- ・ サービス担当者会議の開催
- ・ モニタリングの実施

4. 施設設備管理業務

- ・ 火災報知器、消火器、誘導灯の点検(法定点検年2回)

5. 諸会議の開催

会議名	定例開催日	開催回数		参加職種	参加人数	参考事項
		定例	臨時			
法人職員会議	毎月1回	12回		相談支援専門員	1名	
子ども相談室会議	毎月1回	12回		相談支援専門員・事務員	2名	
サービス担当者会議			随時	相談支援専門員・児童発達支援管理責任者等	2名以上	

7. 苦情内容及び結果の公表

月日	主な苦情内容	対応及び解決方法
	特になし	特になし

8. 評価と展望

〔評価〕

- ・家族のニーズに合わせて、各事業所や委託の相談室等と連携しながら、サービスの更新や変更手続き等の支援や、新規申請にもすぐに対応していった。
- ・引き続き同意をもらう計画を立て、前年度よりも本計画やモニタリングを請求に繋げられる件数が増えてきているが、月によって差がある為、新規も含めて件数を増やしていく。
- ・計画相談の手続きとして、①保護者が区役所に申請に行く、②申請後、計画相談の依頼という流れが保護者の方で理解していない場合もあるので、まずは保護者が区役所に申請の手続きを行うことを伝えながら、難しい場合は代理申請等の支援を行なった。
- ・児者転換の手続き等も増えてきているが、各事業所や保護者とも連携して進めていくことが出来た。

〔展望〕

- ・次年度も引き続き子ども達やご家族、利用者さんに寄り添いながら、必要な支援にすぐに繋がられるように計画相談を行い、また本計画とモニタリングの請求件数を増やしていく。
- ・地域療育等支援事業や、地域支援マネージャー、委託の相談室等とも連携しながら、地域支援や家族支援を行っていく。
- ・各機関や事業所、担当者と連携しながら、必要なサービスの利用にすぐに繋がったり、子どもや家族の困り感に寄り添い、支援していく。
- ・幼児期の児童発達支援から学齢期の放課後等デイサービスへや、児童から成人へのサービスの切り替えを切れ目なく行えるように、早めに申請等の声掛けを行い、計画を進めていく。

西尾リプロセス心理臨床研究所

リプロセスカウンセラー養成講座開催 2回実施

2023年10月20日(金) 会場：ニシオ・キネン・ホール 受講者 3名

トレーナー：鈴木美奈子・前田悦子・中井由子

2024年 3月 9日(土) 会場：ニシオ・キネン・ホール 受講者 2名

トレーナー：鈴木美奈子・中井由子

2024年4月23日の運営委員会にて、新たに認定カウンセラー2名が認定された。 安藤映理さん・相澤愛美さん

認定者フォローアップ研修開催 1回実施

2023年10月21日(土) 会場：ニシオ・キネン・ホール

講師：齋藤学先生

講演『家族と宗教』 参加者62名

オンラインスーパービジョン ケース提出：大濱和美 参加者7名

講演会はズーム開催で、CSPP 修了生や福祉・医療・保育・心理などの専門家や、トラウマを抱えた当事者の方など、オンラインで多くの方が受講した。

スーパービジョンは運営委員の大濱和美さんが担当しているカウンセリングのケースを、齋藤先生にオンラインスーパービジョンの形でスーパーバイズしていただいた。犯罪加害者の家族のカウンセリングで、加害者家族のトラウマが大きく

研究所主催のワークショップ開催 2回実施

2023年10月7日(土) 会場：ニシオ・キネン・ホール (参加者8名)

セラピスト：中井由子・野畑隆子

2023年12月2日(土) 会場：ニシオ・キネン・ホール (参加者6名)

セラピスト：中井由子・田中佳子・野畑隆子

所員主催のワークショップ開催補助

全国の認定トレーナー・カウンセラー開催のワークショップの補助を行った。開催地は仙台のみだった。

【開催地 仙台】

2023年 4月 8日(土) 1Day ワーク 会場：東北会病院 (参加者3名)
セラピスト：鈴木美奈子・大和田誠子・富永香子
2023年 5月12日(金) 半日ワーク 会場：ワナクリニック (参加者3名)
セラピスト：鈴木美奈子・大和田誠子
2023年 7月22日(土) 1Day ワーク 会場：東北会病院 (参加者6名)
セラピスト：鈴木美奈子・大和田誠子・富永香子
2023年10月28日(土) 1Day ワーク 会場：東北会病院 (参加者4名)
セラピスト：鈴木美奈子・大和田誠子・富永香子
2024年 1月27日(土) 1Day ワーク 会場：東北会病院 (参加者5名)
セラピスト：鈴木美奈子・大和田誠子・富永香子

トラウマとその周辺領域に関する学会及び研修会参加

日本子ども虐待防止学会 第29回学術集会 滋賀大会 参加者9名

2023年11月24日(金) プレングレ 会場：ピアザ淡海 滋賀県立県民交流センター

11月25日(土) 大会1日目 会場：びわ湖大津プリンス

11月26日(日) 大会2日目 会場：立命館大学びわこ・くさつキャンパス

「すべての子らを、世の光に」というテーマで行われた学術集会で、リプロセスのセラピストやクライアント9名が参加した。

教育 ト라우マに関する講義・講演 1回実施

村井啓一先生『脳科学と未科学のヒプノセラピー』10:00~17:30

会場：ニシオ・キネン・ホール

現地参加13名 オンライン参加8名

午前の講義に続き、午後はデモンストレーションのセッションを行った。講義で脳科学から記憶の再固定化による癒しを学び、デモセッションでは1人のクライアントに対し「前世療法」と「悲嘆療法」を実演していただいた。

研修会開催 4回実施

講師：百武正嗣先生『フェルデンクライス・ゲシュタルト・ワークショップ』

2023年8月22日(火) 10:00~17:00

会場：ニシオ・キネン・ホール 参加者15名

2023年8月23日(水) 10:00~17:00

会場：ニシオ・キネン・ホール 参加者10名

2024年1月23日(火) 10:00~17:00

会場：ニシオ・キネン・ホール 参加者11名

2024年1月24日(水) 10:00~17:00

会場：ニシオ・キネン・ホール 参加者11名

研究

リプロセスの効果を測る調査はできなかった。トラウマに関する資料を購入した。

スーパーバイザーを招きスーパービジョンを受ける

中本テリー先生にグループスーパービジョンを依頼し、対面で1回、ズームで11回実施した。カウンセリングや子どものセラピーで24ケースのスーパーバイズを受けた。

ピアサポーターの育成

リプロセスリトリートのクライアント経験のある10名のピアサポーターに対し、中本テリー先生のグループスーパービジョンを12回実施した。また、百武正嗣先生のフェルデンクライス・ゲシュタルト・ワークショップにも参加した。

トラウマや家族支援とその周辺に関する国内外の先進的な支援を学ぶ

今年度は国内外ともに視察ができなかった。次年度は国内外の施設とつながりを持ち施設の見学を実施したい。

12. 広報宣伝費 ホームページの運営

ホームページでトラウマケアの必要性和リプロセスリトリートを周知する機会として、研修や研究所および各地の研究所員主催のワークショップの開催を案内した。

13. 運営委員会・事務局

社会福祉法人麦の子会と連携して運営を行い、運営委員会は今年度 zoom にて7回行った。内部監査を定期的に行い、年1回事業計画、予算、事業報告、決算をアライアントエドケーショナルファウンデーションに報告する。

【運営委員会】

2023年 6月27日(火) 18:30~ zoom

2023年 8月 8日(火) 18:30～ zoom
 2023年 9月 26日(火) 18:30～ zoom
 2023年 10月 24日(火) 18:30～ zoom
 2023年 11月 28日(火) 18:30～ zoom
 2023年 12月 25日(月) 18:30～ zoom
 2023年 2月 5日(月) 18:30～ zoom

評価と展望

I 評価

リプロセスカウンセラー養成講座を2回実施し、新たに2名のリプロセスカウンセラーを認定することができた。また、認定者に対してのフォローアップ研修を実施し、齋藤学先生から家族についての講演と困難なケースのカウンセリングのスーパーバイズを受け、人間の進化、家族システムの変化、逆境体験の乗り越え方として体験を話せる場所と話さずにいられる場所の提供や、家族システムが変化している現在では家族システムの解体と再編が話され、改めてリプロセストリートが家族の中で受けたトラウマを癒す場になると感じた。

ワークショップの実施について

研究所主催のワークショップは計画通り2回実施し、コロナの感染対策が緩和されたので通常のワークショップを行うことが出来た。計画では6月に実施予定だったが都合により10月と12月に行った。開催日が近かったためか、12月の開催は参加者が6名と少なかった。次年度は開催日を離して実施したい。

所員主催のワークショップで、仙台では計画通り1Dayワークを4回実施した。1Dayワークへの導入として半日ワークを体験版の位置づけとして6回計画したが、実施は1回にとどまり、5回(6月、8月、9月、11月、12月)は申込者が少ないため中止となった。半日ワークは新規の参加者が参加しやすいのではないかと期待したが、1Dayワークの方が需要が高かったのではないかと考え、次年度、仙台では半日ワークは予定せず1Dayワークのみ実施する予定である。

他の開催地は今年度は実施できなかった。次年度は関西地区での開催を計画したい。

日本子ども虐待防止学会の参加や村井啓一先生のヒプノセラピーの講義と実演、百武正嗣先生のフェルデンクライス・ゲシュタルト・ワークショップなど、専門家や当事者が学ぶ機会を持つことができた。また、専門家やピアサポーターがスーパーバイズを受ける機会を持ち、困難なケースの対応や自身の振り返りの機会となり成長につながり、人材育成としての役割を大いに果たしたと考える。

II 展望

リプロセストリートのワークショップが通常通り開催できるようになったため、次年度は札幌・仙台以外でもワークショップを企画したい。また、認定者のスキルアップと交流をはかるため、各地のワークショップにセラピストを派遣していく。

人材育成として引き続き学会参加や講義・講演などの機会を作り、専門家も当事者も参加できるようにしていく。さらに先進的な支援を学ぶために国内外の施設等を見学する機会を作っていく。

トラウマ治療のひとつとしてのリプロセストリートの普及のために、トラウマ体験のある子どもの支援をする日本の福祉施設心理職ともつながっていく。

当別町子ども発達支援センター発達支援専門職員派遣業務

1. 施設利用状況

(1) 支援回数

(単位 人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
合計			1			1	1	1			1	1	6
前年度	1			1		1	1		1			1	6

2. 支援業務

(1) 業務

- ・当別町子ども発達支援センターにおける、発達評価および専門指導
- ・当別町子ども発達支援センターの指導業務における指導及びスーパーバイズ

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
心理士	常勤			1		1	1	1			1	1

- (2)派遣職員
心理士 1名

3. 評価と展望

- ・当別町子ども発達支援センターに対し発達評価および専門指導を積極的に実施した。
- ・当別町子ども発達支援センターのニーズに合わせ、細かく、柔軟に専門支援を実施した。
- ・当別町子ども発達支援センター関係者（保護者、児童館職員）への講義を実施した。
- ・当別町子ども発達支援センター職員の専門的スキル、機能の獲得は達成できている。今後の支援方法について検討が必要。

妊娠SOS事業

1. 相談件数

電話、LINE、メール 24時間365日対応
開設 2023.4月から2024.3月末で 延べ相談件数 2131件
相談者実人数：849人

2. 居場所支援 Lilja（リリア） 開設 R4.3.10

(1) Lilja（リリア）開設前にもニーズがあり法人所有施設の空き部屋を活用して
臨時的居場所支援を実施した 利用実績：9名 稼働日数：923日
2024年5月より居室1部屋増やし、3室にした。
法人スプリング内2階の一部も居室にする工事中、5月末までに完成予定。

(2) 主な支援内容

- ・生活支援、病院同行、心理支援、栄養指導、育児指導、妊娠期からの支援

3. コンサルテーション

一般社団法人ベアホープより月1回火曜日に1～2時間実施

4. 研修参加

日	研修名	開催地	参加者
2023.12.1	予期しない妊娠への相談対応研修 情報交換会	東京	2人
2023.12.14	児童虐待の未然防止に係る意見交換会	道庁	1人
2023.6.16	妊婦支援に関する意見交換会	札幌市子ども未来局	1人
2024.1.13	助産師・保健師スキルアップセミナー	札幌医大	1人
2023.11.9～10	神戸小さないのちのドア、大阪ダイヤモンドルーム見学 研修	神戸・大阪	2人
2023.11.24～25	虐待防止学会	滋賀	1人
2024.2.24	妊娠期の居場所づくりシンポジウム	東京	2人
2024.3.13	札幌市妊娠SOS相談事業検討会	札幌市保健所	1人

5. 研修講師

日	講座名	対象者	講師
2023.6.24	妊娠期からの子育て支援 ～社会的養護とその周辺の支援～	北海道における社会的養護を考える 会	田中佳子
2023.11.7	江別保健所母子保健担当者会議	管内市町村母子保健関係職員、福祉 関係職員、管内医療機関、保健所保 健師	田中佳子

2023. 11. 12	生活困窮者自立支援全国研究交流大会	生活困窮者自立支援全国ネットワーク	田中佳子
2023. 11. 28	宗谷管内子どもの安全・安心ネットワーク推進検討会	道職員、道児相、保健師等	田中佳子
2024. 1. 26	網走保健所管内母子保健・医療連絡会議	保健師、病院助産師、看護師、道職員	佐々木友美 吉田亜理紗
2024. 1. 29	児童虐待防止に関する研修	保健師、看護師、医師、市・道職員	田中佳子
2024. 3. 8	釧根地域要保護児童対策連絡協議会	児相、保健師、道職員、助産師、弁護士、自立援助ホーム	田中佳子

6. ホームページの運営

ホームページを引き続き開設、周知に効果的となっている。

ホームページの内容に出産してしまった場合も相談できることを加えた。

にんしん SOS がネットニュースになっているものを見て連絡してくる妊婦さんがいた。

7. 諸会議の開催

会議名	開催日	開催回数	参加職種	参加人数	参考事項
個別支援会議	7/27	1回	医師、MSW、看護師、児童相談所、妊娠SOS さっぽろ、家庭児童相談室、保健師、生活保護課	8人	退去後の生活と子育てについて
個別支援会議	7/14	1回	札幌児童相談所、家児相、保護課、保健師、病院医師、看護師、妊娠SOS さっぽろ	9人	退去後の生活と子育てについて
個別支援会議	3/25	1回	保健センター、家児相、病院助産師、看護師、ソーシャルワーカー、にんしんSOS	8人	退院後の子育てについて

8. 評価と展望

(評価)

引き続き24時間、365日対応することができた。

相談件数も令和4年度より777件増え、この事業の必要性がよく分かった。

居場所事業リアの利用も、空くことなく9名の利用があった。養子縁組機関ペアホープさんとも連携でき、3名の赤ちゃんが特別養子縁組となり、1名がファミリーホームの里子となった。

開設から現在まで14名の新生児が誕生した。

[展望]

- ・誰にも相談できない孤立している妊婦さんが相談しやすいように敷居の低い相談窓口を目指す。
- ・次の支援につながるように信頼関係を築けるように寄り添う支援を続けていく。
- ・なにより0日虐待の防止。命を守れるように努めていく。
- ・望まぬ妊娠を予防する為に正しい性教育、緊急避妊薬の情報を伝えていく。
- ・潜在的な相談者に配布したリーフレット、妊娠相談カード、ステッカーが届くような仕組み、広報活動としてSNSでの広告を広めていく。
- ・道内の母子保健施設を回り、出産後の親子の受け入れある場合のお願いとにんしんSOSの活動を知っていただき連携を深める。
- ・札幌市内の保健センター10区10か所を訪問し、より一層の連携とリア居室を増やしたことも周知していく。